

5カ年推進計画2021～2025
2022年度 年度検証報告書

2023年7月

四国旅客鉄道株式会社

本報告書について

- 2020年3月、国土交通省は、JR四国に対して、経営改善に向けた取り組みを着実に進めるよう行政指導文書を発出し、その中で、地域の関係者と一体となって、利用促進やコスト削減等の取組を行うとともに、持続可能な鉄道網の確立に向け、徹底的な検討を行うため、**5年間（2021～2025年度）の事業計画を策定**することが示されました。
- JR四国と地域の関係者は一体となって、この事業計画（推進計画）に基づき、**利便性向上や利用促進などに取組む**とともに、四国の活力の維持・向上を支える持続可能な鉄道網の確立に向け、**2次交通も含めたあるべき交通体系について、徹底的な検討を行います。**
- 四国においては、「四国における鉄道ネットワークのあり方に関する懇談会Ⅱ」での議論や同懇談会「中間整理」に基づく県別（地域別）会議等、地域の関係者と一体となった利便性向上・利用促進策等の取組や持続可能な鉄道網の確立に向けた、あるべき交通体系の検討等が既に進められていることから、**県別（地域別）会議での検討や取組と連携し**、「5カ年推進計画2021～2025」（以下、「5カ年推進計画」）の検証等を進めます。
- 2022年度の取組状況・検証について、本報告書に取りまとめました。

【5カ年推進計画の基本的方針】

- ◆対象線区
JR四国管内全線区
- ◆取組内容等
 - ・ 4県別に各種施策を取りまとめ
 - ・ 「利便性向上」「利用促進」「その他」の3項目に分類
- ◆設定する指標
 - ・ 基本指標 「平均通過人員」※最終年度（2025年度）に計画開始前の2019年度と同水準を目指す
 - ・ 関連指標 「列車キロ平均輸送人員」（列車運行本数に左右されない1列車あたりの利用人数）
- ◆進め方
 - ・ JR四国と地域の関係者が一体となって取組を推進
 - ・ 取組結果を毎年度検証
 - ・ 最終年度（2025年度）には総括的な検証
 - ・ 検証結果を踏まえた事業の抜本的な改善方策に関する検討

【県別（地域別）の検討組織】

- ・ 徳島県生活交通協議会ワーキング部会
- ・ 香川県鉄道ネットワークあり方懇談会
- ・ 愛媛県鉄道ネットワークあり方検討会
- ・ 高知県鉄道ネットワークあり方懇談会

<策定の経緯>

- ・2020年3月、国土交通省は、JR四国に対して、経営改善に向けた取り組みを着実に進めるよう行政指導文書を発出し、その中で、地域の関係者と一体となって、利用促進やコスト削減等の取組を行うとともに、持続可能な鉄道網の確立に向け、徹底的な検討を行うため、5年間（2021～2025年度）の事業計画を策定することが示された。

<策定の目的>

- ・JR四国と地域の関係者は一体となって、この事業計画（推進計画）に基づき、利便性向上や利用促進などに取り組むとともに、四国の活力の維持・向上を支える持続可能な鉄道網の確立に向け、2次交通も含めたあるべき交通体系について、徹底的な検討を行う。
- ・JR四国は、地域の関係者とともに、推進計画に基づく取組結果を毎年度検証し、推進計画の最終年度（2025年度）には総括的な検証も行う。その際、利用者数等の目標に対する達成度合い等を踏まえ、事業の抜本的な改善方策についても検討を行う。

○ 推進計画の基本的な方針

四国においては、「四国における鉄道ネットワークのあり方に関する懇談会Ⅱ」での議論や同懇談会「中間整理」に基づく県別（地域別）会議等、地域の関係者と一体となった利便性向上・利用促進策等の取組や持続可能な鉄道網の確立に向けた、あるべき交通体系の検討等が既に進められていることから、県別（地域別）会議での検討や取組と連携し、5カ年推進計画の策定及び検証等を行う。

◆対象線区

JR四国管内全線区

◆取組内容等

- ・4県別に各種施策を取りまとめ
- ・「利便性向上」「利用促進」「その他」の3項目に分類

◆設定する指標

- ・基本指標「平均通過人員」
最終年度（2025年度）、計画開始前の2019年度と同水準を目指す。
- ・関連指標「列車キロ平均輸送人員」
列車運行本数に左右されない1列車あたりの利用人数。

◆進め方

- ・JR四国と地域の関係者が一体となって取組を推進。
- ・取組結果を毎年度検証。
- ・最終年度（2025年度）には、総括的な検証。
- ・検証結果を踏まえた、事業の抜本的な改善方策に関する検討。

○ 5カ年推進計画における具体的取組（骨子）

利便性向上

○駅を中心としたまちづくり	
○交通モード間の利便性向上・連携強化、交通結節機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・運体系、ダイヤ面での連携 ・営業面での連携 ・ハード整備 ・その他
○駅や路線の活性化、利用環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・駅環境整備 ・車両環境整備

利用促進

○観光振興への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・観光列車等による観光振興 ・イベント開催時の連携 ・その他
○その他利用促進への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・利用啓発イベントの開催等 ・補助制度の活用 ・公共交通の周知 ・美化活動

その他

○中長期的な公共交通ネットワークのあり方の検討
○自治体による計画の策定及び推進
○安全性向上への協力
○新型コロナウイルスへの対応

計画の取組状況及び検証（「基本指標」「関連指標」達成状況）

【計画の取組状況】

2022年度は、「5カ年推進計画」の2年目として、新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」）の影響を受け、初年度に引き続き、計画通り遂行できない部分もありましたが、高松駅ビルをはじめ、駅を中心としたまちづくりや、西予市の卯之町「はちのじ」まちづくり整備事業推進により建替えられた駅舎が完成し、供用を開始しました。また、鉄道と高速バスの連携として徳島県南部における鉄道とバスによる共同経営（並行モード連携モデル）の開始や、東讃地区においてはコミュニティバスや路線バスとのモーダルミックスの実証実験を実施するなどのモビリティ間での連携強化、駅案内サインの多言語化やデジタルサイネージの更なる整備、チケットアプリ「しこくスマートえきちゃん」の開発と導入といった利便性向上、「第2回予土線Fun Fun祭り」の開催、「瀬戸内国際芸術祭2022」や「四国水族館」といったイベントや観光施設と連携した企画商品の造成、各観光列車での季節に応じたイベントやツアーといった利用促進など、地域の関係者が一体となって、様々な取組が実施されました。更には、感染症の影響を踏まえ、利用回復に向けた補助事業等の積極的な取組も行っていました。

一方、感染症の影響が長引き、移動需要の低迷や新しい生活様式の定着といった不可抗力の影響があり、結果は以下のとおり厳しい状況となりましたが、徐々にではありますが見回復の兆しも見えてきています。2023年度においては、新たな利用促進・利便性向上の施策造成にくわえ、感染症のため実施を見送っていたイベントや施策等の実施に向け、地域の関係者の連携をさらに密にして、目標の達成に向け、計画の取組をより一層推進して参ります。

【基本指標】

○2022年度のJR四国全線の平均通過人員は3,589人/日となり、目標値に対する割合は81.3%となりました。

※2019年度平均通過人員4,416人/日

○3年ぶりの移動制限のない大型連休や、全国旅行支援等の補助制度のため、前年よりは回復傾向ではありましたが、目標値を下回る結果となりました。

【関連指標】

○2022年度のJR四国全線での列車キロ平均輸送人員は59.9人となり、目標値に対する割合は87.7%となりました。

※2019年度列車キロ平均輸送人員68.3人

○ご利用者数の減少に伴い減便を実施してきたこと等もあり、基本指標と比較すると達成割合はよい結果となっています。

※2019.3ダイヤ改正と2022.3ダイヤ改正の列車キロ比較：▲3,390km/日（※回送列車含む）

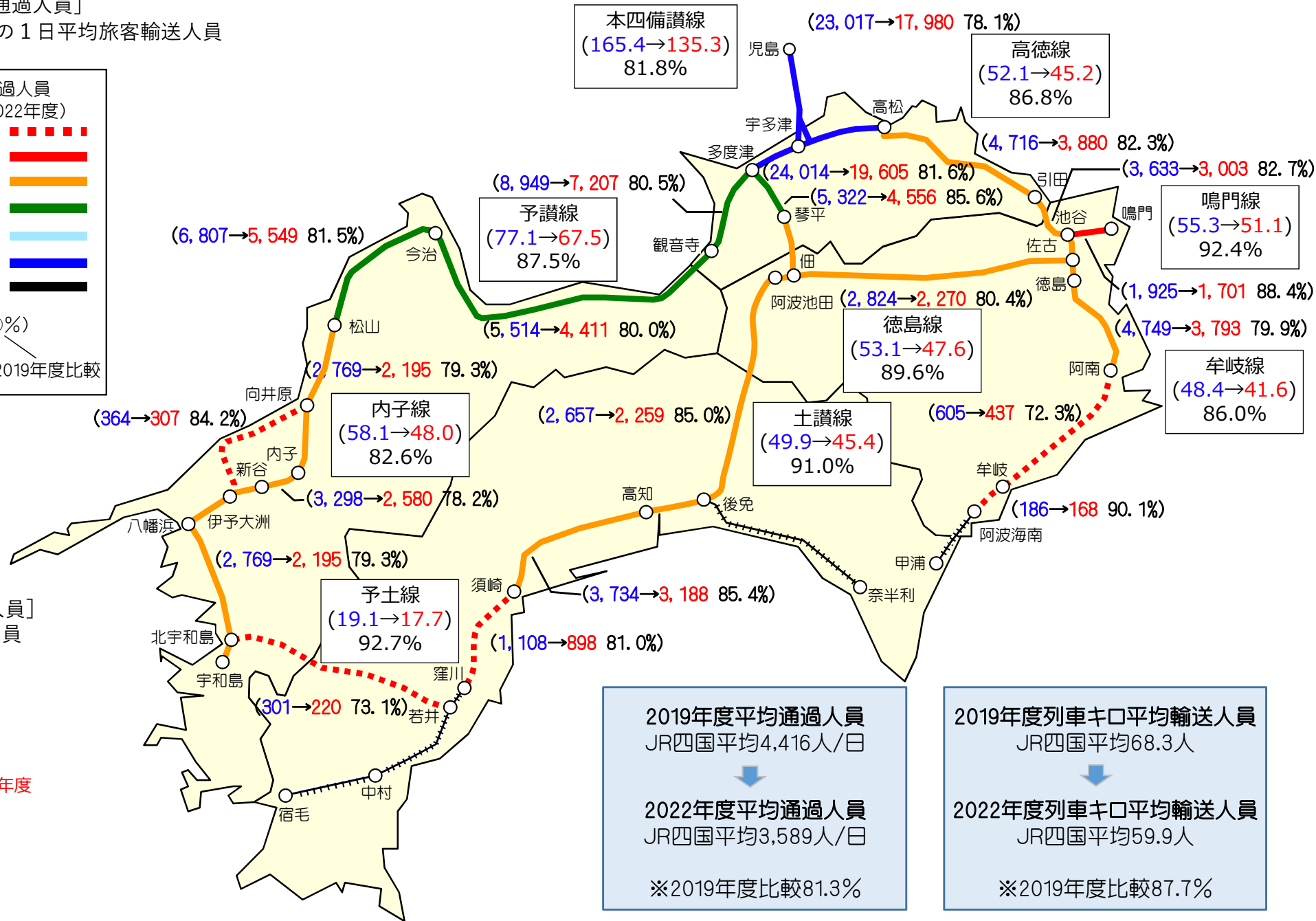
5カ年推進計画 基本指標・関連指標との比較

【2022年度実績（平均通過人員・列車キロ平均輸送人員）】

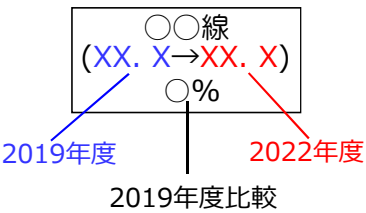
線名	区間	営業キロ (km)	2022年度 平均通過人員	【基本指標】 2019年度 平均通過人員	【基本指標】 平均通過人員 (2019年度比較)	2022年度 列車キロ平均輸送人員 (1列車あたりの利用人員)	【関連指標】 2019年度列車キロ 平均輸送人員 (1列車あたりの利用人員)	【関連指標】 列車キロ 平均輸送人員 (2019年度比較)
			(人/日)	(人/日)	(%)	(人)	(人)	(%)
本四備讃線	児島 ~ 宇多津	18.1	17,980	23,017	78.1	135.3	165.4	81.8
予讃線	高松 ~ 宇和島	327.0	5,171	6,395	80.9	67.5	77.1	87.5
	高松 ~ 多度津	32.7	19,605	24,014	81.6			
	多度津 ~ 観音寺	23.8	7,207	8,949	80.5			
	観音寺 ~ 今治	88.4	4,411	5,514	80.0			
	今治 ~ 松山	49.5	5,549	6,807	81.5			
	松山 ~ 内子	91.6	2,195	2,769	79.3			
	新谷 ~ 宇和島							
	向井原 ~ 伊予大洲	41.0	307	364	84.2			
内子線	新谷 ~ 内子	5.3	2,580	3,298	78.2	48.0	58.1	82.6
高德線	高松 ~ 徳島	74.5	3,534	4,289	82.4	45.2	52.1	86.8
	高松 ~ 引田	45.1	3,880	4,716	82.3			
	引田 ~ 徳島	29.4	3,003	3,633	82.7			
土讃線	多度津 ~ 窪川	198.7	2,381	2,803	84.9	45.4	49.9	91.0
	多度津 ~ 琴平	11.3	4,556	5,322	85.6			
	琴平 ~ 高知	115.3	2,259	2,657	85.0			
	高知 ~ 須崎	42.1	3,188	3,734	85.4			
	須崎 ~ 窪川	30.0	898	1,108	81.0			
徳島線	佐古 ~ 佃	67.5	2,270	2,824	80.4	47.6	53.1	89.6
鳴門線	池谷 ~ 鳴門	8.5	1,701	1,925	88.4	51.1	55.3	92.4
牟岐線	徳島 ~ 阿波海南	77.8	1,459	1,824	80.0	41.6	48.4	86.0
	徳島 ~ 阿南	24.5	3,793	4,749	79.9			
	阿南 ~ 牟岐	43.2	437	605	72.3			
	牟岐 ~ 阿波海南	10.1	168	186	90.1			
予土線	北宇和島 ~ 若井	76.3	220	301	73.1	17.7	19.1	92.7
JR四国全線		853.7	3,589	4,416	81.3	59.9	68.3	87.7

区間別平均通過人員(2019年度→2022年度)

【基本指標】 [平均通過人員]
営業キロ1km当たりの1日平均旅客輸送人員



【関連指標】
[列車キロ平均輸送人員]
1列車あたりの利用人員



2019年度平均通過人員
JR四国平均4,416人/日
↓
2022年度平均通過人員
JR四国平均3,589人/日
※2019年度比較81.3%

2019年度列車キロ平均輸送人員
JR四国平均68.3人
↓
2022年度列車キロ平均輸送人員
JR四国平均59.9人
※2019年度比較87.7%

※牟岐線 阿波海南～海部駅間は2020年10月31日をもって阿佐海岸鉄道に移管したため鉄道事業を廃止。

1. 徳島県内の取組み

～徳島県生活交通協議会ワーキング部会～

主な取組事例(徳島県内)

交通モード間の利便性向上・連携強化、交通結節機能の強化

◆その他

(1)利便性向上商品の開発

- ・チケットアプリ「しこくスマートえきちゃん」の開発と導入
- 11月より、「いつでも」「どこでも」「キャッシュレス」できっぷを購入し、きっぷ画面提示で列車に乗降可能な新チケットシステムを導入



駅や路線の活性化、利用環境の充実

◆駅環境整備

(1)トイレの整備等

- 自治体による公衆トイレの整備
- ・阿波山川駅(吉野川市)4月～供用開始



(2)Wi-Fi環境の整備

- ・個室型ワークブースを設置(徳島駅)
- 電源、Wi-Fi、空調、LEDリングライト完備



観光振興への取組

◆観光列車等による観光振興

(1)「四国まんなか千年ものがたり」の運行

- ・4/1 運行開始5周年イベント
- (阿波川口駅愛称決定「ぼんぼこ阿波川口駅」、駅名標設置)



◆イベント開催時の連携

(1)車両貸し切り結婚式

- ・9/18 国鉄型ディーゼル気動車(キハ40形)のファンのお客様が車両を貸し切り、「幸せ一杯号」として徳島線(徳島～阿波池田)を運転
- 徳島駅長によるお祝いスピーチ、結婚記念乗車証の贈呈

(2)DMVラッピング車両の運行

- ・11/27 DMVが運行開始1周年を迎えることを記念し、「牟岐線」及び「阿佐東線DMV」の利用促進を図る取り組みとして実施
- ・ラッピング車両は1年間運行予定



◆その他

(1)「牟岐線沿線魅力再発見ツアー」の開催

- ・DMV運行開始1周年を記念し、牟岐線及び阿佐東線の利用促進を目的に、「ゆうゆうアンパンマンカー」の牟岐線運行やDMVの乗車体験を実施し、地域住民もおもてなしを実施



牟岐駅

阿波海南駅

その他利用促進への取組

◆利用啓発イベントの開催等

(1)公共交通利用促進イベントの開催

- ・地域の方々が交通サービスを使って支えることを考えるきっかけとなることを目的に、2022年度に県内3圏域で3回開催



徳島県HPより引用

◆美化活動

(1)駅構内・駅周辺の美化活動

- ・南小松島駅前駐輪場利用者へのマナー向上の声掛け

その他取組

◆安全性向上への協力

(1)異常時訓練への参加協力

- ・7/7 地震、津波避難誘導訓練(牟岐線 由岐～木岐駅間)
- ・7/21,10/28 不審者対応合同訓練(徳島駅)



具体的取組

対象線区

土讃線（坪尻～大歩危）、高德線（阿波大宮～徳島）、鳴門線、牟岐線、徳島線

「2022実施状況」の凡例

◎：2022年度のトピック

（2022年度に新たな取組を実施又は取組が完了）※基本的にJR四国に関連する内容が対象

○：2022年度に実施（◎以外のもの）

→：継続して実施（予定含む）

⇒：2022年度に検討（未実施）

—：未評価（新型コロナウイルス感染症の影響等により評価が困難）

【利便性向上】

2022年度取組内容		対象線区	実施主体	2021 実施状況	2022 実施状況	2023	2024	2025
1. 駅を中心としたまちづくり								
	①駅高架事業の推進 ・徳島駅付近高架化に向けた検討	-	自治体 JR四国	⇒	⇒	→	→	→
	②新駅の設置 ・牟岐線徳島～阿波富田駅間新ホールに隣接する新駅設置検討 7/29 新駅設置についてJR四国から徳島県へ条件付き了承の回答 新駅、駅前広場、自由通路整備に関する協議を継続的に実施	全線区	自治体 JR四国	◎	○			
2. 交通モード間の利便性向上・連携強化、交通結節機能の強化								
◆運行体系、ダイヤ面での連携								
	①並行、重複路線の解消 ・鉄道とバスが並行している路線の再編の検討	全線区	交通事業者 自治体 JR四国	⇒	⇒	→	→	→
	②パターンダイヤの導入 ・徳島線（徳島～穴吹駅間）2021年3月～ 高徳線（徳島～板野駅間）鳴門線（池谷～鳴門駅間）2022年3月～ ・徳島市バス 2021年4月～	全線区	JR四国 自治体	◎	→	→	→	→
	③駅への路線バスの乗り入れ	全線区	交通事業者 自治体 JR四国	⇒	⇒	→	→	→
	④鉄道と高速バスの連携 ・4/1～「徳島県南部における共同経営計画」に基づき、共同経営を開始 徳島バス「室戸・生見・阿南大阪線」の一般道区間の一部においてJR乗車券類での乗車を可能とし、鉄道とバスの双方を共通・通し運賃で利用可能 2022年度高速バス途中乗降利用者数：5.69人/日 （対前年度比384%）	全線区	交通事業者 自治体 JR四国	◎	◎	→	→	→
	⑤列車ダイヤに合わせたバスダイヤの設定・見直し ・ぐるっと剣山登山バス運行 貞光一宇ルート、池田東祖谷ルート	全線区	交通事業者 自治体 JR四国	○	→	→	→	→
	⑥拠点駅を中心とした効率的なネットワークの構築 ・実施に向けた検討	全線区	自治体 JR四国 交通事業者	⇒	⇒	→	→	→
	⑦新たなバス路線の開設等 ・川内松茂線：松茂町地域コミュニティバス、川内循環線（徳島市）に再編 ・二条鴨島線→応神藍住線：「道の駅いたの」を終点 ・神山線：経由の統合 ・佐那河内線、一宮線：役場、病院の移転に伴い、同施設へ乗入れ	全線区	交通事業者 自治体 JR四国	○	○	→	→	→

2 具体的取組【徳島県内での取組】

【利便性向上】

2022年度取組内容		対象線区	実施主体	2021 実施状況	2022 実施状況	2023	2024	2025
◆運行体系、ダイヤ面での連携	⑧コミュニティバスやタクシーの活用 ・実施に向けた検討	全線区	交通事業者 自治体 JR四国	⇒	⇒	→	→	→
	⑨福祉バス等の一体的な活用 ・実施に向けた検討	全線区	交通事業者 自治体 JR四国	⇒	⇒	→	→	→
	⑩時刻案内での連携 ・鉄道とバスの共通時刻表の作成 JR四国HP内に、並行するバスの時刻表を掲載 JR四国ポケット時刻表（牟岐線のみ） 駅貼り時刻表へのバス時刻掲載（牟岐線のみ） 阿南駅発車標にバスの発車時刻を表示 ・デジタルサイネージによるバス運行情報等の案内	全線区	JR四国 交通事業者 自治体	○	◎	→	→	→
	⑪鉄道と路線バスによる代替輸送の実施 ・土讃線阿波池田～大歩危駅間での実施 四国交通と代替輸送契約を締結	全線区	JR四国 交通事業者	◎	→	→	→	→
	⑫JRダイヤ改正情報提供 ・JRダイヤ改正時における関係者への事前周知 （徳島県、県内沿線市町等）	全線区	JR四国 自治体 交通事業者	○	○	→	→	→
	⑬2023/3/11～DMVダイヤ改正 ・阿波海南駅での牟岐線との待ち時間を短縮	牟岐線	阿佐海岸鉄道		○	→	→	→
◆営業面での連携	①異なる交通モードが利用できるきっぷ等の導入 ・「四国みぎした55フリーきっぷ」販売 ・「徳島・室戸・高知きっぷ」販売（2021年9月廃止） ・第4,5弾「とくしまプレミアム交通券」の販売 2022/3/11～11/30	全線区	JR四国 交通事業者 自治体	○	→	→	→	→
	★スマホタッチ支払いの実証実験 地域公共交通の利便性向上と利用促進を目的に、駅やバス車内に設置したNFCタグにスマートフォンをタッチし決済処理を実施 ※共同経営区間料金対応 ・実証実験期間：11/16～2/15 ・対象交通機関 【徳島バス】 室戸、生見、阿南大阪線：阿南駅～甲浦 丹生谷線：阿南医療センター～川口営業所 【JR四国】 牟岐線：徳島駅～阿波海南駅	牟岐線	JR四国 交通事業者 自治体		◎			

2 具体的取組【徳島県内での取組】

【利便性向上】

2022年度取組内容		対象線区	実施主体	2021 実施状況	2022 実施状況	2023	2024	2025
◆ハード整備	①新たな交通モードの導入 ・阿佐東線へのDMVの導入 2021年12月 営業運転開始 運行開始記念式典:約250名参加、発進式:約800名参加 ・2022年度 44,776名乗車	全線区	自治体 交通事業者 JR四国	◎	→	→	→	→
	②駅前広場整備 ・徳島線鴨島駅周辺整備(吉野川市) 2022年3月 広場供用開始 継続して実施に向けた検討	全線区	自治体 JR四国	◎	→	→	→	→
	③駅への駐車場・駐輪場整備 ・2021年3月～ サイクルピット整備 自転車組立、解体スペースの整備等・駐輪場の整備 ・2022年1月～ 徳島線府中駅駐輪環境整備	全線区	自治体 JR四国	○	→	→	→	→
◆その他	①レンタサイクルの実施 ・駅周辺でのレンタサイクルの実施と継続 ・シェアサイクル実施と継続	全線区	自治体	○	→	→	→	→
	②バスの時刻表や路線情報のオープンデータ化 ・各路線バス、コミュニティバスもGTFSデータを順次公開	全線区	交通事業者 自治体	◎	→	→	→	→
	★利便性向上商品の開発 ・チケットアプリ「しこくスマートえきちゃん」の開発と導入 11月より、「いつでも」「どこでも」「キャッシュレス」で きっぷを購入し、きっぷ画面提示で列車に乗車可能な新チケット システムを導入	全線区	JR四国		◎	→	→	→

3. 駅や路線の活性化、利用環境の充実

◆駅環境整備	①駅舎の公的整備や活用 ・実施に向けた検討	全線区	自治体 JR四国	⇒	⇒	→	→	→
	②トイレの整備等 ・公衆トイレの整備 2022年2月～ 供用開始 貞光駅(つるぎ町)、阿波半田駅(つるぎ町)、穴吹駅(美馬市) 4月～ 供用開始 阿波山川駅(吉野川市)	全線区	自治体 JR四国	◎	◎	→	→	→
	③多言語案内の整備 ・駅へのデジタルサイネージの整備(列車運行情報等の案内) 2021年3月～高徳線、鳴門線、牟岐線 2022年3月～徳島線(蔵本～川田)	全線区	JR四国 自治体	◎	→	→	→	→
	④Wi-Fi環境の整備 ・徳島駅、鴨島駅、阿南駅、阿波池田駅、大歩危駅で整備済み ・徳島駅に、個室型ワークブースを設置 電源、Wi-Fi、空調、LEDリングライト完備	全線区	JR四国 自治体	○	◎	→	→	→
	⑤バリアフリー化 ・利用者数3,000人/日以上以上の駅では、公共交通移動等円滑化基準に 適合した設備を整備	全線区	JR四国 自治体	○	→	→	→	→

2 具体的取組【徳島県内での取組】

【利便性向上】

2022年度取組内容		対象線区	実施主体	2021 実施状況	2022 実施状況	2023	2024	2025
◆車両環境整備	①特急車両の環境整備（2700系新型特急車両の導入） ・新型特急車両2700系を2020年度までに導入	全線区	J R 四国	○				

2 具体的取組【徳島県内での取組】

【利用促進】

2022年度取組内容		対象線区	実施主体	2021 実施状況	2022 実施状況	2023	2024	2025
1. 観光振興への取組								
◆観光列車等による観光振興	①「四国まんなか千年ものがたり」の運行 ・地域の方によるおもてなし等、一体となった取組 4/1 運行開始5周年イベント 阿波川口駅愛称「ぼんぼこ阿波川口駅」決定、駅名標設置 「あなたの『しあわせものがたり』かなえます」 企画の実施 5/29 列車で米寿のお祝い 11/12 列車で結婚式開催 3/25 8万人達成を祝い、記念缶バッジ配布	土讃線	J R四国 自治体	◎	○	→	→	→
	②「藍よしのがわトロッコ」の運行 ・地域の方によるおもてなし等、一体となった取組 4月～ 上り便車内で地元高校生と料理店が共同企画した弁当販売 9/10 秋の運行初日に出発式イベント開催 10/10 運行開始2周年イベント ゆるキャラのお見送り、記念缶バッジ配布など	徳島線	J R四国 自治体	○	○	→	→	→
	③「ゆうゆうアンパンマンカー」の運行 アンパンマン列車スタンプラリー	高德線 徳島線	J R四国	○	→	→	→	→
	④臨時列車・企画列車の運行等 ・「徳島ヴォルティス」ホームゲーム観戦に合わせた臨時列車運行 鳴門駅にサポーター等への歓迎装飾を実施 ・12/24, 25 高德線（高松～徳島）でのアンパンマントロッコクリスマスツアーを開催	全線区	J R四国 自治体	○	○	→	→	→
◆イベント開催時の連携	①アニメイベント「マチ★アソビ」との連携 ※新型コロナウイルス感染症等の影響により連携なし	全線区	J R四国 自治体	—	—	→	→	→
	②四国デスティネーションキャンペーンとの連携 ・四国アフターDC（4/1～6/30） 四国まんなか千年ものがたりと藍よしのがわトロッコを連続して乗車できる旅行商品の販売	全線区	J R四国 自治体	○	○			
	③その他取組 ・令和4年度全国高等学校総合体育大会（四国インターハイ）との連携 ・車両の貸切ツアーや、あなんまちマルシェ開催に伴うプチツアー ・薬王寺への初詣列車運転や酒まつりに合わせた臨時列車運転 ・阿波池田駅の列車接近メロディを池田高校校歌に変更 ・11/27～ DMVラッピング車両の運行（1年間の運行予定） ・2月～ JR四国全車両において牟岐線及びDMVの車内広告を実施（1か月間）	全線区	自治体 J R四国	○	○	→	→	→

2 具体的取組【徳島県内での取組】

2022年度取組内容		対象線区	実施主体	2021 実施状況	2022 実施状況	2023	2024	2025
◆その他	①インバウンド向け企画商品の造成 ・ ALL SHIKOKU Rail Passの販売 ・ JR SHIKOKU Pass 3DAYSの販売	全線区	J R 四国 交通事業者	○	○	→	→	→
	②自治体と連携した駅起点ツアー商品の造成 ・ 「四国家のお宝」シリーズの展開 ・ 「地域観光チャレンジ」企画商品の造成 四国の4 国立大学の学生の考案 ・ 「牟岐線沿線魅力再発見ツアー」 牟岐線及び阿佐東線の利用促進を促す企画ツアーを実施	全線区	J R 四国 自治体	○	○	→	→	→
	③阿佐東線DMV導入による観光振興 ・ DMV導入に伴うプロモーション 記念入場券、DMVグッズの販売、DMVのうた、ダンス、絵本の作成、 沿線ガイドブックの作成、商談会や旅行博等への参加、駅や空港での サイネージ広告、インフルエンサー等を活用したプロモーション ・ DMV乗客へのアンケートを実施（交通手段や宿泊状況）	牟岐線	自治体 交通事業者 J R 四国	○	◎	→	→	→

2. その他利用促進への取組

◆利用啓発イベントの開催等	①公共交通利用促進イベントの開催 ・ 8/6, 7 公共交通利用促進イベント 「DMVとはたらくのりものフェスタ」 ・ 10/29 徳島県交通エコライフキャンペーン ・ 10/29 鉄道の日イベント「親子で楽しむ！とくしま鉄道探検隊」 ・ 11/3 鉄道開業150周年 徳島を走る汽車をもっと知ろう ・ 12/4, 2/5, 3/5 公共交通利用促進リレーシンポジウム ・ 12/25 DMV 1周年記念イベント「公共交通まつり」	全線区	自治体 J R 四国 交通事業者	○	○	→	→	→
	②ノーカーデーの実施	全線区	自治体	○	→	→	→	→
◆補助制度の活用	①通学定期への運賃補助 ・ 自治体による通学定期への運賃補助 (神山町、美波町、海陽町)	全線区	自治体	○	→	→	→	→
	②高齢者及び免許返納者への運賃補助 ・ 路線バス、コミュニティバス、デマンド交通利用時の運賃減免等	全線区	自治体	○	→	→	→	→
	③マイレール意識の醸成 ・ 県による市町村の鉄道利用促進・利用環境改善に向けた 取組への支援	全線区	自治体	○	→	→	→	→
★割引施策の導入	★通学定期所持者向け特急利用通学割引 ・ 「定期券de特急『剣山』回数券」販売 2021/4/23～2022/3/31 徳島線穴吹～阿波池田駅間で発売	徳島線	J R 四国 自治体	◎				

【利用促進】

2022年度取組内容		対象線区	実施主体	2021 実施状況	2022 実施状況	2023	2024	2025
◆公共交通の周知	①県民への周知 ・川の時刻表の作成 吉野川水系の河川と鉄道の交差箇所の列車通過時刻をまとめた時刻表を作成	全線区	自治体 J R 四国 交通事業者	○	→	→	→	→
	②出張時等における公共交通利用促進	全線区	自治体	⇒	⇒	→	→	→
	③企業内における公共交通利用促進の周知	全線区	自治体	⇒	⇒	→	→	→
	④教育機関と連携した公共交通利用促進 ・J R 四国と高校の連絡体制の確立 ・バス乗車教室	全線区	自治体 J R 四国 交通事業者	○	→	→	→	→
◆貨客混載の取組	①列車を活用した貨客混載 ・2021/11/9、10 大歩危、にし阿波の名産品を大歩危駅～高松駅の営業列車で運搬し、高松駅で販売	全線区	J R 四国 自治体	◎				
◆美化活動	①駅構内・駅周辺の美化活動 ・南小松島駅前駐輪場の美化 利用者への駐輪マナー向上呼び掛け ・駅清掃活動への感謝状贈呈	全線区	自治体 J R 四国	○	○	→	→	→
	②その他活動 ・季節に合わせた飾りつけ (ハロウィン、クリスマスツリー、門松、干支引継ぎ式等)	全線区	自治体 J R 四国	○	○	→	→	→

2 具体的取組【徳島県内での取組】

【その他】

2022年度取組内容		対象線区	実施主体	2021 実施状況	2022 実施状況	2023	2024	2025
◆中長期的な公共交通ネットワークのあり方の検討	①各交通モードの特性や地域の特性・実情を踏まえた適切な公共交通ネットワークのあり方に関する検討 ・徳島県生活交通協議会ワーキング部会（県別会議）	全線区	自治体 J R 四国 交通事業者	○	○	→	→	→
	②四国新幹線の早期実現に向けた機運醸成・提言活動 ・四国新幹線整備促進期成会による要望活動等 ・四国知事会議を開催し、提言をとりまとめ ・新幹線応援キャラクターの着ぐるみ制作等	-	自治体	○	○	→	→	→
	★路線のあり方に関する意見交換 ・JR鳴門線に関する意見交換会 ・JR牟岐線を考える首長トップセミナー	鳴門線 牟岐線	自治体 J R 四国		○	→	→	→
◆自治体による計画の策定及び推進	①次世代地域公共交通ビジョンの推進 ・徳島県生活交通協議会作業部会エリア別ワーキング部会 ・次世代地域公共交通ビジョン推進委員会 ・バスと鉄道の連携強化など、地域公共交通の確保、維持への積極的な取組について、地域公共交通優良団体国土交通大臣表彰を受賞	全線区	自治体 J R 四国 交通事業者	○	◎	→	→	→
	②地域公共交通計画等の策定及び推進 ・推進の動き（徳島県、徳島市、小松島市、つるぎ町、阿南市、東みよし町、鳴門市、三好市、美馬市）	全線区	自治体 J R 四国 交通事業者	○	→	→	→	→
	③立地適正化計画等の策定及び推進 ・推進の動き（徳島市、鳴門市）	全線区	自治体 J R 四国 交通事業者	○	→	→	→	→
	★その他計画や会議 ・徳島市中心市街地活性化基本計画 ・阿南駅周辺まちづくりビジョン ・四国南東部広域観光連携協議会	全線区	自治体 J R 四国 交通事業者	○	→	→	→	→
◆調査等の実施	①地域公共交通に関するアンケート・利用実態調査の実施 ・2021年9月 徳島県地域公共交通協議会が公共交通利用に関するアンケート調査を実施 ・7月 JR鳴門線、JR牟岐線利用者を対象とした意識調査の実施	全線区	自治体	○	○	→	→	→
	②より正確な利用実態把握方法の導入 ・実施に向けた検討	全線区	J R 四国	⇒	⇒	→	→	→

2 具体的取組【徳島県内での取組】

【その他】

2022年度取組内容		対象線区	実施主体	2021 実施状況	2022 実施状況	2023	2024	2025
◆安全性向上への協力	①異常時訓練への参加協力 ・合同訓練の実施 7/7 地震、津波避難誘導訓練（牟岐線 由岐駅～木岐駅間） 7/21, 10/28 不審者対応合同訓練（徳島駅）	全線区	J R 四国	○	○	→	→	→
	②安全 P R 活動への参加協力 ・全国交通安全運動における踏切安全通行 P R 活動への協力 4/7 阿南市交通安全母の会、阿南市セニアクラブ、阿南地域交通安全活動推進委員協議会、阿南警察署、阿南駅による活動 11/1 徳島駅コンコースで踏切事故防止啓発チラシ配布等	全線区	J R 四国	○	○	→	→	→
	★災害発生時における相互協力に関する協定の締結 ・2021/5/28 土木学会四国支部と JR 四国における災害発生時における相互協力に関する協定の締結	全線区	J R 四国	○	→	→	→	→
◆新型コロナウイルスへの対応	①感染防止対策や「新しい生活様式」への対応 ・走行車両の窓開けや車両空調装置による換気の実施 ・列車混雑状況の H P 等による情報提供 ・定期消毒や抗ウイルスシート貼付、アクリル板の設置 ・時差出勤やマスク着用等の呼びかけやポスター掲示	全線区	J R 四国	○	→	→		
	②感染防止対策や新サービス実証への支援 ・公共交通利用回復支援事業（2021年度） 支援対象 徳島ヴォルティス戦公共交通利用促進事業 公共交通機関利用促進事業等 ・「みんなで！とくしま応援割・旅行割」事業 県内宿泊、旅行商品費用への助成	全線区	自治体	◎	○	→		
	★地域のワクチン接種への協力 ・2021年7月～8月 徳島大学の職域接種において、常三島キャンパス ⇨医学部大塚講堂のシャトルバスの運行手配	-	徳島大学 J R 四国	◎				

2. 香川県内の取組み

～香川県鉄道ネットワークあり方懇談会～

主な取組事例(香川県内)

駅を中心としたまちづくり

◆駅周辺整備

(1)高松駅ビル(仮称)開発

- ・商業棟(地上4階 鉄骨造)
- ・駐車場棟(4層5段 鉄骨造)
- ※2023/4/25



高松駅ビル 施設名称
「TAKAMATSU ORNE(タカマツ オルネ)」に決定
※2024年3月 開業予定

交通モード間の利便性向上・連携強化、交通結節機能の強化

◆新たな交通モードの導入検討

(1)東讃地区におけるモーダルミックスによる利便性向上施策(実証実験)

※香川県公共交通燃料高騰・利用回復対策事業費補助金を活用

対象地区	さぬき市	東かがわ市
対象交通機関	さぬき市(コミュニティバス) JR四国(鉄道)	大川バス(路線バス) JR四国(鉄道)
実証実の目的	公共交通の利用促進及び地域に最適で持続可能な「公共交通ネットワークの四国モデル」構築	
実施期間	10/22~1/31	
実施内容	JR高徳線の志度駅、造田駅からコミュニティバス(志度-造田-多和線)の乗継利用者はコミュニティバス運賃を減額 平日:200円→100円 土休日:500円→200円	JR高徳線の三本松~引田を含む区間の定期券で、大川バス(引田線・五名福栄線)の三本松~引田間が乗車可能
利用実績	10/22~1/31 115名 (10月:19名 11月:54名 12月:20名 1月:22名)	10/22~1/31 515名 (10月:7名 11月:110名 12月:191名 1月:207名)

(2)時刻案内での連携

- ・JR四国HP内に、東讃地区実証実験中に利用できるバスの時刻表を掲載

(3)乗り継ぎのモデルコース設定

- ・さぬき市HPに、コミュニティバスで行く「さぬき旅」(モデルプラン)掲載



◆その他

(1)利便性向上商品の開発

- ・チケットアプリ「しこくスマートえきちゃん」の開発と導入
11月より、「いつでも」「どこでも」「キャッシュレス」できっぷを購入し、きっぷ画面提示で列車に乗降可能な新チケットシステムを導入



駅や路線の活性化、利用環境の充実

◆駅環境整備

(1)多言語案内の整備

- ・駅へのデジタルサイネージの整備(列車運行情報等の案内)



(2)Wi-Fi環境の整備

- ・個室型ワークブースを設置(高松駅)
電源、Wi-Fi、空調、LEDリングライト完備



高松駅整備箇所

主な取組事例(香川県内)

観光振興への取組

◆観光列車等による観光振興

(1)「四国まんなか千年ものがたり」の運行

- ・4/1 運行開始5周年イベント
(金刀比羅宮特別御朱印の配布)
- ・7/4 地元園児とアテンダントが七夕の飾り付け(塩入駅)
- ・7/15~18 ひまわり紀行を運転
塩入駅付近を徐行運転
期間限定の食事とオリジナルカードのプレゼント
- ・11/12 5周年記念特別賞作品のセレモニー実施(観光列車で結婚式)
- ・3/25 8万人達成イベントを実施(記念缶バッジの配布)



(2)「津嶋神社夏季例大祭に合わせて津島ノ宮駅」を開設

- ・8/4、5の夏季例大祭に合わせ、3年ぶり開設
2日間で64本の普通列車が臨時停車
降車 3,638名 乗車 3,192名



津島ノ宮駅の様子

◆イベント開催時の連携

(1) 地域イベントとの連携

- 「世界自閉症啓発デー」「発達障害啓発週間」における琴平駅での啓発
- ・4/2~8 琴平駅舎をブルーにライトアップ
- 「瀬戸内国際芸術祭2022」との連携
- ・香川アート往復きっぷの発売
- ・四国各地~高松の往復特急指定席 + 香川自由周遊区間
- ・発売期間：4/1~11/4
- ・期間中の発売実績：166枚



◆その他

(1) 自治体と連携した駅起点ツアー商品の造成

- ・「地域の魅力の再発見」「地域に貢献する人材育成」を目的とした、香川大学とJR四国による連携事業
12/11 香川大学教員によるガイドツアーを開催

(2) 観光施設と連携した企画商品の造成

- ・「四国水族館きっぷ」の発売
発駅から宇多津駅までの往復JR券と四国水族館入館券の引換券がセットになったきっぷ
発売実績：3,725枚(2022年度)



その他利用促進への取組

◆美化活動

(1) 駅清掃活動

- ・10/31 屋島駅の清掃活動、花壇の整備、観光案内所の開設等(四国運輸局長表彰)

(2) 季節に合わせた催し

- ・こいのぼり、七夕、門松、新春鏡開き



七夕飾り付けの様子(高松駅)

その他取組

◆安全性向上への協力

(1) 異常時訓練への参加協力

- ・6/9 不審者対応合同訓練(琴平駅)
- ・12/4 不審者対応合同訓練(丸亀駅)

(2) 安全PR活動への参加協力

- 全国交通安全運動における踏切安全通行PR活動への協力

- ・4/6 昭和町駅付近(高松北警察署と合同)
- ・4/8,9/28 琴平駅付近(琴平警察署、琴平交通安全協会と合同)
- ・9/21 高松駅付近(香川県警鉄道警察隊と合同)
- ・9/21 多度津駅付近(丸亀警察署と合同)
- ・11/1 高松駅コンコースでチラシの配布と、啓発ビデオの放映



◆新型コロナウイルスへの対応

(1) 無料抗原検査会場の設置

- ・高松駅に新型コロナウイルスの無料抗原検査会場を設置
4/28~5/8,8/5~8/18,12/27~1/10

具体的取組

対象線区

本四備讃線、予讃線（高松～箕浦）、土讃線（多度津～讃岐財田）、高德線（高松～讃岐相生）

「2022実施状況」の凡例

◎：2022年度のトピック

（2022年度に新たな取組を実施又は取組が完了）※基本的にJR四国に関連する内容が対象

○：2022年度に実施（◎以外のもの）

→：継続して実施（予定含む）

⇒：2022年度に検討（未実施）

—：未評価（新型コロナウイルス感染症の影響等により評価が困難）

3 具体的取組【香川県内での取組】

【利便性向上】

2022年度取組内容		対象線区	実施主体	2021 実施状況	2022 実施状況	2023	2024	2025
1. 駅を中心としたまちづくり								
	①駅周辺整備 ・高松駅ビルの開発 ・新県立体育館、サンポート高松B2街区の整備（高松駅） ・徳島文理大学香川キャンパスの移転（高松駅） ・多度津町新庁舎の建設（多度津駅）6/6 移転、開庁 ・坂出駅周辺再整備に関する検討 ・善通寺駅周辺地区のまちづくり検討	-	自治体 JR四国	○	○	→	→	→
2. 交通モード間の利便性向上・連携強化、交通結節機能の強化								
◆運行体系、ダイヤ面での連携	①パターンダイヤの導入 ・2020年3月～ 高松駅昼間時間帯発車時刻の統一 ②鉄道とバス等による一体的な公共交通ネットワークの形成 【2021年度】 ・さぬき市コミュニティバスの見直し、再編 ・三豊市コミュニティバスダイヤ改正 ・琴平町グリーンスローモビリティ「コトコト感幸バス」実証運行 ・東かがわ市グリーンスローモビリティ「わくわく号」実証運行 ・多度津町住民主体移動サービス「移動サービス チョイ来た」導入と継続 ・三木町コミュニティバスの再編 【2022年度】 ・10/22～1/31 JRとの乗継利用時に運賃減額の実証実験（さぬき市コミュニティバス） ・三豊市コミュニティバスダイヤ改正 ・10/22～1/31 JR定期で並行するバスも乗車可能となる実証実験（東かがわ市での大川バスとの連携） ・2022年10月～2023年9月 JR宇多津駅の時間帯別乗降者数を考慮したダイヤの設定（宇多津町コミュニティバス） ③時刻案内での連携（利便性が高く分かりやすい情報の提供） ・2022/3/9 バス案内用デジタルサイネージの整備とバスロケーションシステムと表示を統一（詫間駅） ・2月～ 高松駅にバス案内用デジタルサイネージ設置 ・JR四国HP内に、並行するバスの時刻表を掲載 ④鉄道と路線バスによる代替輸送の実施 ・実施に向けた検討 ⑤JRダイヤ改正情報提供 ・JRダイヤ改正時における関係者への事前周知（香川県、県内沿線市町等）	全線区	JR四国 自治体	○	→	→	→	→
		全線区	自治体 JR四国 交通事業者	○	◎	→	→	→
		全線区	JR四国 交通事業者 自治体	◎	○	→	→	→
		全線区	JR四国 交通事業者	⇒	⇒	→	→	→
		全線区	JR四国 自治体 交通事業者	○	→	→	→	→

3 具体的取組【香川県内での取組】

【利便性向上】

2022年度取組内容		対象線区	実施主体	2021 実施状況	2022 実施状況	2023	2024	2025
◆営業面での連携	①鉄道、バスなど公共交通相互の乗り継ぎの円滑化 ・ICカード等を活用した運賃のシームレス化 実施に向けた検討	全線区	JR四国 交通事業者 自治体	⇒	⇒	→	→	→
	②異なる交通モードが利用できるきっぷ等の導入 ・「ことでん・JRくるり～んきっぷ」販売 ・「岡山・香川ワイドパス」販売	全線区	JR四国 交通事業者 自治体	○	○	→	→	→
	③Ma a Sの実現	全線区	自治体 交通事業者 JR四国	○	⇒	→	→	→
	④JRを含めた乗り継ぎのモデルコースの設定 ・コミュニティバスで行く「さぬき旅」(モデルプラン)の作成 ・実施に向けた検討	全線区	自治体 JR四国	⇒	○	→	→	→
◆ハード整備	①駅前広場整備 ・ことでん伏石駅交通結節点整備 2021年11月 駅前広場グランドオープン 路線バス、高速バス新規乗り入れ ・ことでん新駅(太田～仏生山駅)の検討 ・引田駅、端岡駅周辺整備に向けた検討	全線区	自治体 JR四国	◎	→	→	→	→
	②駅への駐車場・駐輪場整備 ・サイクルピット整備(2021年3月～) 自転車組立、解体スペースの整備等・駐輪場の整備	全線区	自治体 JR四国	○	→	→	→	→
◆その他	①レンタサイクルの実施 ・高松市レンタサイクル事業でのサイクルポートの設置 アプリによる利用、決済システムへ移行	全線区	自治体	○	→	→	→	→
	②バスの時刻表や路線情報のオープンデータ化 ・GTF Sデータの整備及び活用 小豆島町営バス、坂出市営バス、三豊市コミュニティバス 小豆島オーリーブバス、琴参バス、さぬき市コミュニティバス	全線区	交通事業者 自治体	○	○	→	→	→
	★利便性向上商品の開発 ・チケットアプリ「しこくスマートえきちゃん」の開発と導入 11月より、「いつでも」「どこでも」「キャッシュレス」で きっぷを購入し、きっぷが画面提示で列車に乗車可能な新チケット システムを導入	全線区	JR四国		◎	→	→	→

3 具体的取組【香川県内での取組】

【利便性向上】

2022年度取組内容		対象線区	実施主体	2021 実施状況	2022 実施状況	2023	2024	2025
3. 駅や路線の活性化、利用環境の充実								
◆駅環境整備	①駅舎の公的整備や活用 ・丸亀駅内郵便局開局 2021年3月 丸亀駅高架下に移転して開局	全線区	自治体 JR四国	◎	→	→	→	→
	②トイレの整備等 ・公衆トイレの整備 2021年9月～ 供用開始 讃岐財田駅（三豊市）	全線区	自治体 JR四国	◎	→	→	→	→
	③多言語案内の整備 ・駅へのデジタルサイネージの整備（列車運行情報等の案内） 2021年4月～ 高徳線各駅に導入 2022年度 讃岐府中～箕浦駅までの無人駅に導入	全線区	J R 四国 自治体	◎	◎	→	→	→
	④Wi-Fi環境の整備 ・高松駅、坂出駅、宇多津駅、丸亀駅、多度津駅、詫間駅、観音寺駅、善通寺駅、琴平駅、栗林駅、屋島駅、志度駅で整備済み ・高松駅に、個室型ワークブースを設置 電源、Wi-Fi、空調、LEDリングライト完備	全線区	J R 四国 自治体	○	◎	→	→	→
	⑤バリアフリー化 ・利用者数3,000人/日以上以上の駅で、公共交通移動等円滑化経路を確保できていない多度津駅のバリアフリー化に向けた検討、協議等	全線区	J R 四国 自治体	○	→	→	→	→
◆車両環境整備	①特急車両の環境整備（2700系新型特急車両の導入） ・新型特急車両2700系を2020年度までに導入	全線区	J R 四国	○				
	★普通車グリーン席、指定席へのWi-Fi環境の整備 ・マリンライナー車両への無料Wi-Fi環境の整備	本四備讃線	J R 四国	◎				

3 具体的取組【香川県内での取組】

【利用促進】

2022年度取組内容		対象線区	実施主体	2021 実施状況	2022 実施状況	2023	2024	2025
1. 観光振興への取組								
◆観光列車等による観光振興	①「四国まんなか千年ものがたり」の運行 ・地域の方によるおもてなし等、一体となった取組 4/1 運行開始5周年イベント 金刀比羅宮特別御朱印の配布 7/ 4～19 地元園児とアテンダントが七夕飾りつけ（塩入駅） 7/15～18 ひまわりが咲き誇る塩入駅付近で徐行運転 3/25 8万人達成を祝い、記念缶バッジ配布	土讃線	J R四国 自治体	○	○	→	→	→
	②「瀬戸大橋アンパンマントロッコ」の運行 アンパンマン列車スタンプラリー	本四備讃線 予讃線 土讃線	J R四国	○	→	→	→	→
	③「ゆうゆうアンパンマンカー」の運行 アンパンマン列車スタンプラリー	高德線	J R四国	○	→	→	→	→
	④臨時列車・企画列車の運行等 ・サンライズ瀬戸の琴平駅への延長運転 ・8/4, 5 津嶋神社夏季例大祭時に、臨時駅の津島ノ宮駅開設 ・12/24, 25 高德線（高松～徳島）でのアンパンマントロッコクリスマスツアーを開催	全線区	J R四国 自治体	○	◎	→	→	→
◆イベント開催時の連携	①地域イベントとの連携 ・「世界自閉症啓発デー」「発達障害啓発週間」における啓発 琴平駅舎のブルーライトアップ ・瀬戸内国際芸術祭2022との連携 香川アート往復きっぷの発売	全線区	J R四国 自治体	○	○	→	→	→
	②四国デスティネーションキャンペーンとの連携 ・四国アフターDC（4/1～6/30） アートな観光列車「ラ・マル・ド・ボア」を琴平まで運転	全線区	J R四国 自治体	◎	○			
	★その他取組 ・令和4年度全国高等学校総合体育大会（四国インターハイ）との連携	全線区	J R四国 自治体	○	○			

3 具体的取組【香川県内での取組】

【利用促進】

2022年度取組内容		対象線区	実施主体	2021 実施状況	2022 実施状況	2023	2024	2025
◆その他	①インバウンド向け企画商品の造成 ・ALL SHIKOKU Rail Passの販売 ・KAGAWA Mini Rail&Ferry Passの販売 ・JR SHIKOKU Pass 3DAYSの販売	全線区	J R四国 交通事業者	○	→	→	→	→
	②自治体と連携した駅起点ツアー商品の造成 ・「四国家のお宝」シリーズの展開 ・「四国家のお宝」キッズシリーズの展開 ・「地域観光チャレンジ」企画商品の造成 四国の4国立大学の学生の考案 ・「極め付け四国鉄旅」企画商品の造成 ・「丸亀にぎわいプロジェクト」 丸亀市街地のにぎわいづくりを目指した四国家サポーターズクラブ による取組	全線区	J R四国 自治体	○	○	→	→	→
	③観光施設と連携した企画商品の造成 ・四国水族館きつぷの販売	全線区	J R四国 自治体	○	→	→	→	→
	④その他取組 ・12/31, 1/1 高松～琴平駅間に初詣臨時列車運転 ・「香川県・JR四国の連携・協力に関する協定」の締結 ・瀬戸大橋35周年を記念し、デジタルスタンプラリーの実施や、専用のヘッドマーク取付、ラッピング実施予定 ・特急「しおかぜ」「南風」運行開始50周年&鉄道開業150周年記念イベント開催	全線区	J R四国 自治体	○	○	→	→	→

2. その他利用促進への取組

◆利用啓発イベントの開催等	①公共交通利用促進イベントの開催 ・公共交通利用促進キャンペーンの実施 10/15 「四国まるごと公共交通利用促進キャンペーン」開催	全線区	自治体 J R四国 交通事業者	○	→	→	→	→
	②モビリティマネジメントの実施 ・親子鉄道教室、乗り方講習会 実施に向けた検討	全線区	自治体 J R四国 交通事業者	—	⇒	→	→	→
◆補助制度の活用	①高齢者及び免許返納者への運賃補助 ・高松市、丸亀市によるICOCAカード交付 ICOCA、タクシー利用券等一万円分支給（選択制）	全線区	自治体	○	→	→	→	→
◆公共交通の周知	①県民への周知	全線区	自治体 J R四国 交通事業者	⇒	⇒	→	→	→
★貨客混載への取り組み	★列車を活用した貨客混載 ・2021/11/9, 10 大歩危、にし阿波の名産品を大歩危駅～高松駅の 営業列車で運搬し、高松駅で販売	全線区	J R四国 自治体	◎				

3 具体的取組【香川県内での取組】

【利用促進】

2022年度取組内容		対象線区	実施主体	2021 実施状況	2022 実施状況	2023	2024	2025
◆美化活動	①駅構内・駅周辺の美化活動 ・屋島駅の清掃活動、花壇の整備、観光案内所の開設等の活動に、 四国運輸局長表彰 ・駅清掃活動への感謝状贈呈	全線区	自治体 J R 四国	○	○	→	→	→
	②その他活動 ・地元住民等による飾りつけ等 （こいのぼり、七夕飾り、シンビジウム、門松等） ・琴平駅で新春鏡開きを開催	全線区	自治体 J R 四国	○	○	→	→	→

3 具体的取組【香川県内での取組】

【その他】

2022年度取組内容		対象線区	実施主体	2021 実施状況	2022 実施状況	2023	2024	2025
◆中長期的な公共交通ネットワークのあり方の検討	①各交通モードの特性や地域の特性・実情を踏まえた適切な公共交通ネットワークのあり方に関する検討 ・香川県鉄道ネットワークあり方懇談会	全線区	自治体 JR四国 交通事業者	○	○	→	→	→
	②四国の新幹線の早期実現に向けた機運醸成・要望活動 ・四国新幹線整備促進期成会による要望活動等 四国知事会議を開催し、提言をとりまとめ 新幹線応援キャラクターの着ぐるみ制作等 ・香川県JR四国線複線電化・新幹線導入期成同盟会 四国の新幹線勉強会、四国の新幹線シンポジウム、要望活動 ・その他活動 5/22, 9/23 民間団体が主催する「四国新幹線に関するシンポジウム」への助成	-	自治体	○	○	→	→	→
	③四国の新幹線整備に伴う効果等調査の実施 ・6/1 新幹線と四国のまちづくり調査報告書公表 (四国新幹線整備促進期成会)	-	自治体	○	○	→	→	→
◆自治体による計画の策定及び推進	①地域公共交通計画等の策定及び推進 ・計画策定に向けた動き(観音寺市) ・計画の推進等(丸亀市、さぬき市、東かがわ市、高松市、宇多津町、琴平町、坂出市、三豊市)	全線区	自治体 JR四国 交通事業者	○	○	→	→	→
	②立地適正化計画等の策定及び推進 ・計画策定(高松市、丸亀市、坂出市、多度津町、善通寺市、観音寺市、さぬき市、三豊市) ・その他会議(高松市中心市街地活性化協議会、高松市総合都市交通計画推進協議会、坂出市地域公共交通計画推進分科会、さかいで再生会議)	全線区	自治体 JR四国 交通事業者	○	○	→	→	→
	③観光基本計画等の策定及び推進 ・計画策定(善通寺市、観音寺市、東かがわ市、三豊市、琴平町)	全線区	自治体 JR四国 交通事業者	○	○	→	→	→
	④鉄道利用促進方策効果検証事業の実施 ・交通需要予測調査を実施	全線区	自治体	⇒	○	→	→	→
◆調査等の実施	①地域公共交通に関するアンケート・利用実態調査の実施 ・坂出駅北口市民広場「サウンディング型市場調査」 ・各実証実験時等にアンケートの実施等	全線区	自治体	○	○	→	→	→
	②より正確な利用実態把握方法の導入 ・実施に向けた検討	全線区	JR四国	⇒	⇒	→	→	→

3 具体的取組【香川県内での取組】

【その他】

2022年度取組内容		対象線区	実施主体	2021 実施状況	2022 実施状況	2023	2024	2025
◆安全性向上への協力	①異常時訓練への参加協力 ・合同訓練の実施 6/9 不審者対応合同訓練（琴平駅） 12/4 不審者対応合同訓練（丸亀駅）	全線区	J R 四国	○	○	→	→	→
	②安全P R活動への参加協力 ・全国交通安全運動における踏切安全通行P R活動への協力 4/6 昭和町駅付近（高松北警察署と合同） 4/8, 9/28 琴平駅付近（琴平警察署、琴平交通安全協会と合同） 9/21 高松駅付近（香川県警鉄道警察隊と合同） 9/21 多度津駅付近（丸亀警察署と合同） 11/1 高松駅コンコースでチラシの配布と、啓発ビデオの放映	全線区	J R 四国	○	○	→	→	→
	★災害発生時における相互協力に関する協定の締結 ・2021/5/28 土木学会四国支部とJR四国における災害発生時における相互協力に関する協定の締結	全線区	J R 四国	○	→	→	→	→
	★鉄道施設整備への支援 ・栗林高架橋高欄老朽化対策への支援（国交省、香川県、高松市） 2014～2025年度実施 ・災害復旧への支援（国交省、香川県） 2017年台風18号により被災した護岸の復旧工事費用への支援 2017～2022年度実施	全線区	自治体 J R 四国	◎	→	→	→	→
◆新型コロナウイルスへの対応	①感染防止対策や「新しい生活様式」への対応 ・走行車両の窓開けや車両空調装置による換気の実施 ・列車混雑状況のHP等による情報提供 ・定期消毒や抗ウイルスシート貼付、アクリル板の設置 ・時差出勤やマスク着用等の呼びかけやポスター掲示	全線区	J R 四国	○	→	→		
	②感染防止対策や「新しい生活様式」への対応への支援 ・公共交通利用回復緊急支援事業 支援対象 ①車両定期消毒 ②デジタルサイネージ新設 （讃岐府中駅、鴨川駅、八十場駅、讃岐塩屋駅、海岸寺駅 詫間駅） ・香川県公共交通燃料高騰、利用回復対策事業費補助金 支援対象 利便性向上施策の実施、広告宣伝事業 ・「うどん県泊まっpegかわ割」「新うどん県泊まっpegかわ割」 県内宿泊、旅行商品費用への助成 ・東讃地区におけるモーダルミックスによる利便性向上施策への助成	全線区	自治体	◎	○	→		
	★感染予防対策啓発動画の放映 ・高松駅構内モニターでの放映 ★無料抗原検査会場の設置 ・高松駅に新型コロナウイルスの無料抗原検査会場を設置 4/28～5/8, 8/5～8/18, 12/27～1/10	全線区	自治体 J R 四国	◎	○			

3. 愛媛県内の取組み ～愛媛県鉄道ネットワークあり方検討会～

主な取組事例(愛媛県内)

駅を中心としたまちづくり

◆駅周辺整備

(1)卯之町「はちのじ」まちづくり整備事業

卯之町駅舎、駅前複合施設、駅前広場、自由通路等を一体的に整備
11/5 駅舎建替工事を西予市が施工し、供用開始



交通モード間の利便性向上・連携強化、交通結節機能の強化

◆営業面での連携

(1)MaaSの実現

○南予観光型MaaSの実証実験
「えひめいやしの南予デジタルフリーパス」の一環で、JR四国、伊予鉄南予バス、宇和島自動車が連携した「南予全域フリーパス」「内子・大洲町並散策1日パス」を発売
・利用期間：4/24～12/25
・期間中の発売実績：275枚



○YODO MaaSの実証実験

予土線沿線での生活利用の利便性向上を目的に、鉄道、路線バス、タクシー、コミュニティバスを利用する際に、駅や車内に設置したNFCタグにスマートフォンをタッチし、運賃決済を可能とするもの
・利用期間：9/27～12/25
・期間中の鉄道関連利用実績：195名
・通常の乗車料金から20%割引



◆その他

(1)利便性向上商品の開発

・チケットアプリ「しこくスマートえきちゃん」の開発と導入
11月より、「いつでも」「どこでも」「キャッシュレス」できっぷを購入し、きっぷ画面提示で列車に乗降可能な新チケットシステムを導入



駅や路線の活性化、利用環境の充実

◆駅環境整備

(1)多言語案内の整備

・駅へのデジタルサイネージの整備 (列車運行情報等の案内)



(2)Wi-Fi環境の整備

・個室型ワークブースを設置 (松山駅)
電源、Wi-Fi、空調、LEDリングライト完備



松山駅整備箇所

主な取組事例(愛媛県内)

観光振興への取組

◆観光列車等による観光振興

(1)「伊予灘ものがたり」の運行

- ・4/1 初代、2代目の車両展示
- ・4/2 2代目伊予灘ものがたり デビュー
- ・7/24 運行開始8周年イベントを実施(うちわ、ポストカードの配布)
- ・8/30 卯之町歴史探訪として、2代目が初の定期運転区間外運行
- ・12/24,25 えひめ南予きずな博の閉幕に合わせ、伊予大洲～宇和島駅間を運行
- ・11/26 2万人達成イベントを実施(ポストカードの配布等)



(2)5/21～22「第2回予土線Fun Fun祭り」の開催

- ・海洋堂ホビートレイン「ウルトラトレイン号」の運行終了に合わせて実施
- ・ラッピング列車の展示や保守車両体験
- ・高校生による吹奏楽演奏
- ・イベント来場者 計2,230名



J R四国保守車両展示



シャトル列車運転



高校生による吹奏楽演奏

◆イベント開催時の連携

(1)大型キャンペーンとの連携

- えひめ南予きずな博との連携
- ・12/3 予土線3兄弟三重連「ウィンタークルーズ号」を宇和島～江川崎駅間で運転



◆その他

(1)新駅(南伊予駅) 関連事業の実施

- ・3/12 車両基地見学や吹奏楽の演奏、伊予灘ものがたりの臨時停車を実施(「南伊予駅周辺を活性化する会」主催)



その他利用促進への取組

◆貨客混載への取組

(1)特急列車を活用した荷物輸送の実証実験

- ・11/17 宇和島産の「みかん」、岡山産の「ぶどう」を特急「宇和海」「しおかぜ」を使用して岡山と松山で販売



座席への固定



ぶどうの販売(松山駅)



みかんの販売(岡山駅)

その他取組

◆安全性向上への協力

(1)異常時訓練への参加協力

- ・8/1 不審者対応合同訓練(新居浜駅)
- ・11/4 通報や避難についての消防訓練(松山駅)
- ・12/14 不審者対応合同訓練(松山駅)



不審者対応合同訓練(松山駅)

◆新型コロナウイルスへの対応

(1)無料抗原検査会場の設置

- ・松山駅前広場に新型コロナウイルスの無料抗原検査会場を設置
- 8/5～1/10

具体的取組

対象線区

予讃線（川之江～宇和島）、内子線、予土線（北宇和島～真土）

2022実施状況」の凡例

◎：2022年度のトピック

（2022年度に新たな取組を実施又は取組が完了）※基本的にJR四国に関連する内容が対象

○：2022年度に実施（◎以外のもの）

→：継続して実施（予定含む）

⇒：2022年度に検討（未実施）

—：未評価（新型コロナウイルス感染症の影響等により評価が困難）

【利便性向上】

2022年度取組内容		対象線区	実施主体	2021 実施状況	2022 実施状況	2023	2024	2025
1. 駅を中心としたまちづくり								
	① 駅高架事業等の推進 ・松山駅付近連続立体交差事業の推進 ・松山駅周辺土地区画整理事業の推進 ・集約型公共交通ターミナル「バスタ」のJR松山駅周辺への整備検討 ・2024年秋頃 高架切替予定	予讃線	自治体 JR四国 交通事業者	○	→	→	→	→
	② 駅周辺整備 ・卯之町「はちのじ」まちづくり整備事業の推進 卯之町駅舎、駅前複合施設、駅前広場、自由通路等を一体的に整備 駅舎建替工事を西予市が施工（11/5 供用開始） ・近永駅周辺賑わい創出プロジェクトの推進 ワークショップを踏まえた設計等の計画検討 鬼北町高校生によるサイクリングイベント開催	全線区	自治体 JR四国	○	◎	→	→	→
2. 交通モード間の利便性向上・連携強化、交通結節機能の強化								
◆ 運行体系、ダイヤ面での連携	① パターンダイヤの導入 ・実施に向けた検討	予讃線	JR四国	⇒	⇒	→	→	→
	② 他交通モードとのダイヤ調整 ・実施に向けた検討	全線区	自治体 JR四国 交通事業者	⇒	⇒	→	→	→
	③ 二次交通（支線）の見直し等 ・実施に向けた検討	全線区	交通事業者 自治体 JR四国	⇒	⇒	→	→	→
	④ 時刻案内での連携 ・鉄道とバスの共通時刻表の作成 JR四国HP（おでかけに便利な鉄道・バス情報） JR四国ポケット時刻表	全線区	JR四国 交通事業者 自治体	○	→	→	→	→
	⑤ 鉄道と路線バスによる代替輸送の実施 ・沿線のバス事業者と相互の代替輸送契約の締結 予讃線伊予長浜～伊予大洲駅間（伊予鉄南予バス） 予土線宇和島～松丸駅間（宇和島自動車）	全線区	JR四国 交通事業者	○	→	→	→	→
	⑥ 通勤・通学時間に対応したダイヤの改善 ・乗車人数等を勘案し、ダイヤ修正を実施	全線区	JR四国 交通事業者 自治体	⇒	○	→	→	→
	⑦ JRダイヤ改正情報提供 ・JRダイヤ改正時における関係者への事前周知 （愛媛県、県内沿線市町等）	全線区	JR四国 自治体 交通事業者	○	→	→	→	→

4 具体的取組【愛媛県内での取組】

【利便性向上】

2022年度取組内容		対象線区	実施主体	2021 実施状況	2022 実施状況	2023	2024	2025
◆営業面での連携	①異なる交通モードが利用できるきっぷ等の導入 ・「四万十・宇和海フリーきっぷ」販売 ・「松山日帰り路面電車割引きっぷ」販売 ・「四国西南周遊レール&バスきっぷ」販売（2022.3廃止） ・「豊予海峡横断きっぷ」販売（2022.3廃止）	全線区	JR四国 交通事業者	○	→	→	→	→
	②Ma a Sの実現 ・4/24～12/25 南予観光型Ma a S実証実験実施 ・9/27～12/25 YODO Maas実証実験実施	全線区	自治体 JR四国 交通事業者	⇒	◎	→	→	→
◆ハード整備	①駅前広場整備 ・実施に向けた検討	全線区	自治体 JR四国	⇒	⇒	→	→	→
	②駅への駐車場・駐輪場整備 ・サイクルピット整備（2021年3月～） 自転車組立、解体スペースの整備等・駐輪場の整備	全線区	自治体 JR四国	○	→	→	→	→
	★新たな交通モードの導入 ・9/13～10/8 自動運転バス実証運行（伊予上灘駅～翠小学校）	全線区	自治体 交通事業者		○	→	→	→
◆その他	①レンタサイクルの実施 ・駅周辺でのレンタサイクルの実施と継続	全線区	自治体	○	→	→	→	→
	★バスの時刻表や路線情報のオープンデータ化 ・GTFSデータの整備及び活用と更新 伊予市コミュニティバス、大洲市循環バス オープンデータ公開	全線区	交通事業者 自治体	○	→	→	→	→
	★利便性向上商品の開発 ・チケットアプリ「しこくスマートえきちゃん」の開発と導入 11月より、「いつでも」「どこでも」「キャッシュレス」で きっぷを購入し、きっぷ画面提示で列車に乗車可能な新チケット システムを導入	全線区	JR四国		◎	→	→	→

【利便性向上】

2022年度取組内容	対象線区	実施主体	2021 実施状況	2022 実施状況	2023	2024	2025
3. 駅や路線の活性化、利用環境の充実							
◆駅環境整備	①駅舎の公的整備や活用 ・待合環境の整備 12/15 新居浜駅待合室にからくり時計新設 (新居浜ロータリークラブより市へ寄贈)	全線区	自治体 JR四国	◎	→	→	→
	②トイレの整備等 ・実施に向けた検討等	全線区	自治体 JR四国	⇒	⇒	→	→
	③多言語案内の整備 ・駅へのデジタルサイネージの整備(列車運行情報等の案内) 2022年度 川之江～伊予中山までの無人駅と卯之町駅に導入	全線区	JR四国 自治体	◎	◎	→	→
	④Wi-Fi環境の整備 ・川之江駅、伊予三島駅、新居浜駅、伊予西条駅、壬生川駅、今治駅、伊予北条駅、松山駅、伊予市駅、伊予大洲駅、八幡浜駅、宇和島駅で整備済み ・松山駅に、個室型ワークブースを設置 電源、Wi-Fi、空調、LEDリングライト完備	全線区	JR四国 自治体	○	◎	→	→
	⑤バリアフリー化 ・利用者数3,000人/日以上以上の駅では、公共交通移動等円滑化基準に適合した設備を整備	全線区	JR四国 自治体	○	→	→	→
◆車両環境整備	①特急車両の環境整備(8000系、N2000系特急車両) ・トイレの洋式化(N2000系特急車両3両) ・コンセント設置の検討等 ★車内案内表示器の多言語化(2000系全車両に導入)	全線区	JR四国	○	◎	→	→

4 具体的取組【愛媛県内での取組】

【利用促進】

2022年度取組内容		対象線区	実施主体	2021 実施状況	2022 実施状況	2023	2024	2025
1. 観光振興への取組								
◆観光列車等による観光振興	①「伊予灘ものがたり」の運行 ・地域の方と一体でのおもてなし 2022年度 伊予灘ものがたり2代目デビュー 4/1 初代及び2代目 展示会 4/2 2代目デビュー 7/23 2代目ご乗車1万人達成イベント開催 7/24 運行開始8周年を記念して、イベント開催 11/26 2代目ご乗車2万人達成イベント開催 12/3～25 道後編車内にて、松山市との観光に関する連携協定の 一環として、「紅まどんな」のプレゼント	予讃線	J R四国 自治体	◎	◎	→	→	→
	②「予土線3兄弟」の運行 ・しまんトロッコの運行 4/2～5/29 乗車特典として、愛媛県予土線利用促進対策協議会が プランケットを配布 3/25 リニューアル後10周年を記念し、指定席利用のお客様に缶 バッジをプレゼント ・海洋堂ホビートレインの運行 5/23～ ウルトラトレイン号運転終了後、運行区間を予土線に限定 ・鉄道ホビートレインの運行	予土線	J R四国 自治体	○	→	→	→	→
	③「サイクルトレイン」の運行 ・サイクルトレイン愛ある伊予灘号の運行（10月） ・自転車の混乗試験の実施（予讃線） 「えひめ・しまなみリソントレイン」 2022/3/19～2024/2/25の土休日、普通列車22本に持ち込み可能 ・自転車の混乗試験の実施（予土線） 2022/3/19～ 対象列車を土日祝日全便に拡大	全線区	J R四国 自治体	◎	→	→	→	→
	④地域のキャラクター等をイメージした列車の運行 ・「おさんぼなんよ号」の運行 2016/2/21から運行し、愛媛県及び南予地域の自治体のキャラク ターをデザインしたラッピング車両 ・「鬼列車」の運行 2021/7/4から運行し、鬼北町による「鬼のまちづくり」のシンボル、 「鬼王丸」等をデザインしたラッピング車両 ・「しまんと開運汽車 すまいるえきちゃん号」の運行 2022/1/29から運行し、窪川ポップアートプロジェクトと連携した ラッピング車両	全線区	自治体 J R四国	◎	→	→	→	→
	⑤臨時列車・企画列車の運行等 ・10/18～20 予土線沿線の保育園児の遠足に合わせ、アンパンマン トロッコを予土線で運行 ・3/5 「よどせん感謝祭」「鬼北桃祭」開催に合わせ、鬼列車に おひなさまを展示した、「おひなさま列車」を運行	全線区	J R四国 自治体	—	◎	→	→	→
	★「予土線Fun Fun祭り」の開催 ・5/21, 22 「ウルトラトレイン号」のラストランに合わせ、ラッピ ング列車の展示や、保守車両体験等のイベントを開催	予土線	J R四国 自治体	◎	◎	→	→	→

【利用促進】

2022年度取組内容		対象線区	実施主体	2021 実施状況	2022 実施状況	2023	2024	2025
◆イベント開催時の連携	①沿線でのイベントとの連携 ・FC今治の情報発信掲示板を今治駅コンコース内に設置 ・予讃線（松山～波方）を、アンパンマントロッコ&ゆうゆうアンパンマンカーが貸切運転 ・伊予西条鉄道フェスタ2022を鉄道歴史パークin SAIJOで開催し、車両の特別展示等を実施 ・大洲市での「新しい旅のカタチ」として、伊予灘ものがたり車内でJAL客室乗務員とJR四国のアテンダントによるおもてなし等、大洲市で宿泊するツアーを開催 ・松山中央公園でのイベント開催に合わせた臨時列車の運行 坊っちゃんスタジアムでのプロ野球公式戦等 愛媛県武道館でのイベント、コンサート	全線区	J R 四国 自治体	○	→	→	→	→
	②大型キャンペーンとの連携 ・四国アフターDC（4/1～6/30） 新旧伊予灘ものがたり特別展示会ツアー等の特別企画の旅行商品を販売 ・えひめ南予きずな博との連携 4/24～12/25開催 12/3 予土線3兄弟三重連「ウインタークルーズ号」を、宇和島～江川崎駅間運転 12/24, 25 伊予灘ものがたり「南予きずな旅～えひめ南予きずな博イベント列車～」ツアーを開催（伊予大洲～宇和島駅間運転）	全線区	J R 四国 自治体	◎	○			
	③その他取組 ・松山市・JR 四国 観光に関する連携協定 松山市の萬翠荘及び3つの観光列車も貸切としたツアーを開催 ・令和4年度全国高等学校総合体育大会（四国インターハイ）との連携 ・国際サイクリング大会に合わせ、臨時列車を運転 ・新居浜駅電化と8000系のデビュー30周年を記念し、ツアーを実施	全線区	自治体 J R 四国	◎	→	→	→	→

【利用促進】

2022年度取組内容		対象線区	実施主体	2021 実施状況	2022 実施状況	2023	2024	2025
◆その他	①インバウンド向け企画商品の造成 ・ALL SHIKOKU Rail Passの販売 ・JR SHIKOKU Pass 3DAYSの販売	全線区	J R四国 交通事業者	○	→	→	→	→
	②自治体と連携した駅起点ツアー商品の造成 ・「四国のお宝」シリーズの展開 ・「四国のお宝」キッズシリーズの展開 ・「地域観光チャレンジ」企画商品の造成 四国の4国立大学の学生の考案	全線区	J R四国 自治体	○	→	→	→	→
	③観光商品等の造成 ・「内子・大洲町並散策1日パス」の販売を継続	全線区	J R四国	○	→	→	→	→
	④新駅（南伊予駅）関連事業の実施 ・3/12 南伊予駅開業3周年記念イベントを開催し、車両基地見学や 吹奏楽の演奏、伊予灘ものがたりの臨時停車等を実施	予讃線	自治体 J R四国	⇒	◎	→	→	→
	⑤予土線利用促進（愛媛県予土線利用促進対策協議会） ・YODOSENサポーター事業の展開（ファンの拡大） ・「予土線もうすぐ50周年！スタンプラリー」の実施 ・松野町の夏祭りに合わせた臨時列車運転（宇和島～松丸駅間） ・「夕涼みビールトロッコ」の臨時列車運転（宇和島～江川崎駅間） ・第9回予土線川柳コンテストの実施 ・予土線3兄弟三重連「ウインタークルーズ号」を、宇和島～江川崎 駅間運転 ・予土線の利用促進を目的に、JR予土線絵画コンテストを実施	予土線	自治体 J R四国	○	→	→	→	→
★JR予土線圏域の明日を考える会 ・インスタグラムフォトコンテスト開催 ・地元高校生との共催で、サイクリングイベントを開催 ★今治駅ゴールドポスト設置 ・2021/11/10～東京パラリンピック競泳の山口尚秀選手（今治市在 住）の金メダル獲得を称え、今治駅前の郵便ポストを金色に変更	予讃線	自治体 J R四国	○					

2. その他利用促進への取組

◆利用啓発イベントの開催等	①公共交通利用促進イベントの開催 ・公共交通利用促進キャンペーンの実施 ・駅前でのマーケット開催 11/27 伊予土居駅周辺で「第4回 土居駅マーケット」開催	全線区	自治体 J R四国 交通事業者	○	○	→	→	→
	②ノーマイカー通勤デーの実施 ・「愛媛県公共交通利用促進宣言」毎月1回設定	全線区	自治体 J R四国 交通事業者	○	→	→	→	→
	③通勤利用を促す事業所、住民へのPR（マイレール意識の醸成） ・高架工事現場の見学（地元大学生、小学生）	全線区	自治体 J R四国 交通事業者	⇒	○	→	→	→

【利用促進】

2022年度取組内容		対象線区	実施主体	2021 実施状況	2022 実施状況	2023	2024	2025
2. その他利用促進への取組								
◆補助制度の活用	①通学定期への運賃補助 ・遠距離通学学生への通学定期運賃補助 (大洲市、内子町、松野町、鬼北町)	全線区	自治体	○	→	→	→	→
	②高齢者及び免許返納者への運賃補助 ・自主的に免許を返納した高齢者へのJR四国旅行券交付(松前町) ICい〜カード、タクシー券との選択制	全線区	自治体	○	→	→	→	→
	③遠足等への運賃補助 ・予土線を利用する遠足等の行事に対し運賃補助 (愛媛県予土線利用促進対策協議会)	予土線	自治体	○	→	→	→	→
◆割引施策の導入	①大口割引、家族割引の導入	全線区	J R 四国	—	—	→	→	→
◆公共交通の周知	①地域住民への周知 ・四国まるごと公共交通利用促進キャンペーンの都市イベント開催 ・ポケット時刻表、JR四国HPに並行するバスの時刻も掲載することで、公共交通の周知	全線区	自治体 J R 四国 交通事業者	◎	→	→	→	→
★貨客混載への取組	★列車を活用した貨客混載 ・特急列車を活用した荷物輸送(客貨混載)の実証実験 2022年3月 宇和島産の養殖マグロを特急宇和海を使用して荷物輸送 11月 宇和島産のみかんを、特急宇和海としおかぜを使用して岡山に、岡山県産のぶどうを特急しおかぜを使用して松山へそれぞれ輸送して販売 ・路線バスを活用した荷物輸送 10月～森松～横河原路線のバスの一部で、車内の空きスペースを活用した輸送のサービスを実施	予讃線	J R 四国	◎	◎	→	→	→
◆美化活動	①駅構内・駅周辺の美化活動 ・伊予小松駅の清掃活動、花壇の整備の活動に、四国運輸局長表彰 ・駅清掃活動への感謝状贈呈	全線区	自治体 J R 四国	○	→	→	→	→
	②その他活動 ・松山駅1番のりば掲示の編成表をデジタル化し、分かりやすい案内表示とするとともに、季節感溢れる飾りつけ ・宇和島運転区の沿線掲示板に、愛媛カラーの「えひめれっちゃん」を掲出 ・八幡浜駅みかんの収穫祭 ・季節に合わせた飾りつけ (こいのぼり、風鈴棚、七夕飾り、門松)	全線区	自治体 J R 四国	○	→	→	→	→

【その他】

2022年度取組内容		対象線区	実施主体	2021 実施状況	2022 実施状況	2023	2024	2025
◆中長期的な公共交通ネットワークのあり方の検討	①各交通モードの特性や地域の特性・実情を踏まえた適切な公共交通ネットワークのあり方に関する検討 ・愛媛県鉄道ネットワークあり方検討会	全線区	自治体 J R 四国 交通事業者	○	→	→	→	→
	②四国の新幹線の早期実現に向けた機運醸成・要望活動 ・四国新幹線整備促進期成会による要望活動等 四国知事会議を開催し、提言をとりまとめ 新幹線応援キャラクターの着ぐるみ制作等 ・愛媛県新幹線導入促進期成同盟会 10/16 「それいけ！四国新幹線2022」開催 クロストーク及びパネルディスカッションの実施	-	自治体	○	○	→	→	→
◆自治体による計画の策定及び推進	①地域公共交通計画等の策定及び推進 ・計画の推進 (今治市、西条市、新居浜市、四国中央市、宇和島市、西予市、大洲市、伊予市、鬼北町) ・策定に向けた動き(八幡浜市、松前町、松野町)	全線区	自治体 J R 四国 交通事業者	○	→	→	→	→
	②立地適正化計画等の策定及び推進 ・計画の推進(松山市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、伊予市、大洲市、四国中央市、西予市)	全線区	自治体 J R 四国 交通事業者	○	→	→	→	→
	★その他会議の開催 ・松山市中心市街地活性化協議会、セミナー ・伊予市都市再生推進調査会 ・鬼北町公共交通会議ヒアリング	予讃線	自治体	○	→	→	→	→
◆調査等の実施	①地域公共交通に関するアンケート・利用実態調査の実施 ・各実証実験時等にアンケートの実施	全線区	自治体	⇒	○	→	→	→
	②より正確な利用実態把握方法の導入 ・実施に向けた検討	全線区	J R 四国	⇒	⇒	→	→	→

【その他】

2022年度取組内容		対象線区	実施主体	2021 実施状況	2022 実施状況	2023	2024	2025
◆安全性向上への協力	①異常時訓練への参加協力 ・合同訓練の実施 8/1 不審者対応合同訓練（新居浜駅） 11/4 通報や避難についての消防訓練（松山駅） 12/14 不審者対応合同訓練（松山駅）	全線区	J R四国	○	○	→	→	→
	②安全P R活動への参加協力 ・全国交通安全運動における踏切安全通行P R活動への協力 10/7 壬生川～伊予三芳駅間（西条西警察署と合同） 11/1 松山駅コンコースでチラシの配布と、啓発ビデオの放映	全線区	J R四国	—	○	→	→	→
	★災害発生時における相互協力に関する協定の締結 ・2021/5/28 土木学会四国支部とJR四国における災害発生時における相互協力に関する協定の締結	全線区	J R四国	○	→	→	→	→
	★鉄道施設整備への支援 ・内子高架橋高欄老朽化対策への支援 2014～2021年度実施（国交省、愛媛県、沿線12市町） ・災害復旧への支援（国交省、愛媛県、沿線12市町） 内子線斜面崩壊箇所の復旧工事費用への支援 2020～2021年度実施	全線区	J R四国 自治体	◎				
◆新型コロナウイルスへの対応	①感染防止対策や「新しい生活様式」への対応 ・走行車両の窓開けや車両空調装置による換気の実施 ・列車混雑状況のHP等による情報提供 ・定期消毒や抗ウイルスシート貼付、アクリル板の設置 ・時差出勤やマスク着用等の呼びかけやポスター掲示	全線区	J R四国	○	→	→		
	②「新しい生活様式」に向けた利用回復、促進への支援 ・愛媛県公共交通燃油高騰対策支援金 支援対象 鉄道車両への動力費 ・県内宿泊割引キャンペーン事業 「みきゃん割」「こみきゃん割」 「疲れたら、愛媛。新みきゃん割」「えひめぐり みきゃん旅割」 県内宿泊費用、旅行商品への助成	全線区	自治体	◎	→	→		
	★無料抗原検査会場の設置 ・松山駅前広場に新型コロナウイルスの無料抗原検査会場を設置 8/5～1/10	全線区	自治体 J R四国		○			

4. 高知県内の取組み

～高知県鉄道ネットワークあり方懇談会～

主な取組事例(高知県内)

駅を中心としたまちづくり

◆駅周辺整備

(1)須崎市海のまちプロジェクト

- ・2026年迄に整備予定の図書館複合施設を見据えた中心市街地の活性化やコンテンツ制作、仕組み創り等を目指すプロジェクト
- ・2021/12/18 海のまちのエントランスとなる須崎駅舎をリノベーション
- ・12/10 駅や商店街へのイルミネーションの飾り付けと点灯式を開催



須崎市観光協会HPより抜粋

交通モード間の利便性向上・連携強化、交通結節機能の強化

◆運行体系、ダイヤ面での連携

(1)時刻、乗継案内での連携

- ・JR四国HP内に、並行バス路線の時刻表を掲載



バス路線	バス時刻	列車時刻	乗継案内
高知線
土佐本線
土佐赤松線
高知線
土佐本線
土佐赤松線

JR四国HP内の案内画面

(2)鉄道と路線バスによる代替輸送の実施

- ・2022年度実績(延8日)
- ・8/26~29 江川崎~窪川駅間 落石事故に伴う代行輸送等



◆ハード整備

(1)新たな交通モードの導入

- ・西土佐地域における自動運転モビリティ実証実験
 サステナブルな公共交通の構築、予土線の利用促進を目的に、江川崎駅周辺で実証実験を実施
 7/14「第2回西土佐地域自動運転モビリティ実証実験企画議」を開催し、実証実験の運行ルート・実施時期等を決定
 ・運行ルート：JR江川崎駅~道の駅「よって西土佐」間を自動運転
 道の駅「よって西土佐」~「ホテル星羅四万十」間を手動運転
 ・実施時期：8/21~8/28(夏休み期間)
 ※8/20には、出発式や試乗会などの関連イベントを開催
 ・乗車実績：延べ486人(乗車率：54.0%)
 3/20「第3回西土佐地域自動運転モビリティ実証実験企画議」を開催し、実証実験の結果報告及び今後の取組方針を決定



◆その他

(1)利便性向上商品の開発

- ・チケットアプリ「しこくスマートえきちゃん」の開発と導入
 11月より、「いつでも」「どこでも」「キャッシュレス」できっぷを購入し、きっぷ画面提示で列車に乗降可能な新チケットシステムを導入



主な取組事例(高知県内)

駅や路線の活性化、利用環境の充実

◆駅環境整備

(1) 駅舎の公的整備や活用

- ・交流拠点の整備

10/1 日下駅の駅舎を日高村へ譲渡し、交流スペースや待合室、公衆トイレの整備等を今後検討



(2) トイレの整備等

○自治体による公衆トイレの整備

- ・吾桑駅(須崎市) 9月 供用開始
- ・伊野駅(いの町) 3月 供用開始
- ・土佐加茂駅(佐川町) 3月 供用開始



吾桑駅

伊野駅

土佐加茂駅

(3) 多言語案内の整備

- ・駅案内サインの多言語化の実施
高知駅、旭駅、朝倉駅、伊野駅、佐川駅



多言語案内サイン

個室型ワークブース

(4) Wi-Fi環境の整備

- ・個室型ワークブースを設置(高知駅)
電源、Wi-Fi、空調、LEDリングライト完備

(2) 5/21~22第2回予土線FunFun祭りの開催

『ウルトラトレイン号』ラストランに合わせて、予土線FunFun祭りを開催し、窪川駅でオープニングセレモニー実施



©円谷プロ



◆その他

(1) 海洋堂ホビー館との連携

- ・海洋堂ウルトラマンフィギュア展と連携した「海洋堂ホビートレイン『ウルトラトレイン号』」の運行
運行期間：2021/7/22~2022/5/22
- ・海洋堂ホビー館への特別展示「フィギュアの国のアリス」にちなみ、協賛ポストカードの配布

その他利用促進への取組

◆利用啓発イベントの開催等

(1) 公共交通利用促進イベントの開催

- ・11/3~1/29の日祝にICカード「ですか」利用は10円、現金利用は100円で路面電車、路線バス、デマンド型タクシーに乗り可能
- ・10/9「鉄道の日」記念イベントとして、各鉄道事業者の基地や車庫を見学する、「親子で行く 鉄道施設見学会」を開催



観光振興への取組

◆観光列車等による観光振興

(1) 「志国土佐 時代の夜明けのものがたり」の運行

- ・4月~6月,10月~12月の金曜日に、土佐くろしお鉄道「ごめん・なはり線」を特別運行
- ・4/16~ 県立伊野商業高校の生徒による車内ガイド
- ・7/1~3 運行開始2周年記念イベント開催
- ・7/22 2万人達成イベントを実施(記念バッジ配布)
- ・2/4,11,18,25



ごめん・なはり線の運行



記念バッジ

往路と復路を乗車し、異なるおもてなしや車両の雰囲気を経験できるツアー開催

その他取組

◆安全性向上への協力

(1) 異常時訓練への参加協力

- ・合同訓練の実施
11/4 地震、津波避難誘導訓練(土讃線 安和~土佐久礼駅間)
- 12/7 高知運転所布師田車両基地で、総合事故対策訓練を実施



◆新型コロナウイルスへの対応

(1) 無料抗原検査会場の設置

- ・高知駅南口前に新型コロナウイルスの無料抗原検査会場を設置
8/1~9/30,12/24~1/12

具体的取組

対象線区

土讃線（土佐岩原～窪川）、予土線（西ヶ方～若井）

2022実施状況」の凡例

◎：2022年度のトピック

（2022年度に新たな取組を実施又は取組が完了）※基本的にJR四国に関連する内容が対象

○：2022年度に実施（◎以外のもの）

→：継続して実施（予定含む）

⇒：2022年度に検討（未実施）

—：未評価（新型コロナウイルス感染症の影響等により評価が困難）

【利便性向上】

2022年度取組内容		対象線区	実施主体	2021 実施状況	2022 実施状況	2023	2024	2025
1. 駅を中心としたまちづくり								
	①駅を中心としたまちづくりの検討 ・須崎市海のまちプロジェクト 12/10 駅や商店街へのイルミネーション飾りつけと点灯式セレモニーを開催	全線区	自治体 JR四国 交通事業者	◎	→	→	→	→
2. 交通モード間の利便性向上・連携強化、交通結節機能の強化								
◆運行体系、ダイヤ面での連携								
	①パターンダイヤの導入 ・土讃線高知駅～土佐山田駅間導入（2021年3月～）	全線区	JR四国 交通事業者 自治体	◎	→	→	→	→
	②ダイヤ面での連携 ・4/1 四万十町窪川～大正～十和地域の路線バスダイヤの増便及び変更により、交通結節点の窪川駅の接続改善と強化 ※10/1より、利用実態を考慮して再度見直し（減便及びダイヤ変更）	全線区	交通事業者 自治体 JR四国	◎	○	→	→	→
	③時刻、乗継案内での連携 ・鉄道とバスの共通時刻表の作成 JR四国HP（おでかけに便利な鉄道・バス情報） JR四国ポケット時刻表 ・交通事業者間での乗継案内放送の実施 高知駅到着時のJR⇄とさでん交通路面電車	全線区	JR四国 交通事業者 自治体	○	→	→	→	→
	④鉄道と路線バスによる代替輸送の実施 ・沿線のバス事業者と相互の代替輸送契約の締結 予土線窪川～十川間（四万十交通） 8/26～29 江川崎～窪川駅間 落石事故に伴う代行輸送実施等	全線区	JR四国 交通事業者	○	→	→	→	→
	⑤JRダイヤ改正情報提供 ・JRダイヤ改正時における関係者への事前周知（高知県、県内沿線市町村等）	全線区	JR四国 自治体 交通事業者	○	→	→	→	→
◆営業面での連携								
	①異なる交通モードが利用できるきっぷ等の導入 ・「四万十・宇和海フリーきっぷ」販売 ・「しまんと・あじずり号セットくろしお往復きっぷ」販売 ・「四国みぎした55フリーきっぷ」販売 ・「徳島・室戸・高知きっぷ」販売（2021.9廃止） ・「四国西南周遊ルール&バスきっぷ」販売（2022.3廃止） ・「高知日帰り路面電車割引きっぷ」販売（2022.3廃止）	全線区	JR四国 交通事業者 自治体	○	→	→	→	→
	②Ma a Sの実現 ・高知プレミアム交通Passの充実 2021.10～ 2日間有効の「高知プレミアム交通Passライト」を追加（2023.3販売終了）	全線区	自治体 JR四国 交通事業者	◎	→	→	→	→
	③トクトクきっぷの域外購入 ・実施に向けた検討	全線区	JR四国	⇒	⇒	→	→	→

【利便性向上】

2022年度取組内容		対象線区	実施主体	2021 実施状況	2022 実施状況	2023	2024	2025
◆ハード整備	①駅前広場整備 ・整備に向けた検討、協議等	全線区	自治体 JR四国	⇒	⇒	→	→	→
	②駅への駐車場・駐輪場整備 ・サイクルピット整備（2021年3月～） 自転車組立、解体スペースの整備等・駐輪場の整備	全線区	自治体 JR四国	○	→	→	→	→
	★新たな交通モードの導入 ・自動運転モビリティの実証（江川崎駅周辺） 8/21～28 サステナブルな公共交通の構築と地域に適切な交通モードの検討、予土線の利用促進を目的に実証実験を実施	予土線	自治体 JR四国	○	◎	→	→	→
◆その他	①レンタサイクルの実施 ・駅周辺でのレンタサイクルの実施と継続 ・3/10 シェアサイクルサービスの開始（高知市）	全線区	自治体	⇒	○	→	→	→
	②カーシェアリングとの連携 ・「JR四国レール&カーシェア」の展開	全線区	JR四国	○	→	→	→	→
	③バスの時刻表や路線情報のオープンデータ化 ・GTFS-JP（静的バス情報フォーマット）形式で整備 高知県オープンデータウェブサイトで、各路線バスやコミュニティバスが順次オープンデータ公開	全線区	交通事業者 自治体	○	→	→	→	→
	★利便性向上商品の開発 ・チケットアプリ「しこくスマートえきちゃん」の開発と導入 11月より、「いつでも」「どこでも」「キャッシュレス」できっぷを購入し、きっぷ画面提示で列車に乗車可能な新チケットシステムを導入	全線区	JR四国		◎	→	→	→

【利便性向上】

2022年度取組内容	対象線区	実施主体	2021 実施状況	2022 実施状況	2023	2024	2025	
3. 駅や路線の活性化、利用環境の充実								
◆駅環境整備	①駅舎の公的整備や活用 ・交流拠点の整備 10/1 日下駅の駅舎を日高村へ譲渡し、交流スペースや待合室、公衆トイレの整備等を今後検討 ②トイレの整備等 ・9/1 供用開始（吾桑駅：須崎市） ・3/10 供用開始（伊野駅：いの町） ・3/30 供用開始（土佐加茂駅：佐川町） ※トイレ洋式化整備であり、自治体管理 ③多言語案内の整備 ・駅案内サインの多言語化（高知駅、旭駅、朝倉駅、伊野駅、佐川駅） ④Wi-Fi環境の整備 ・土佐山田駅、後免駅、高知駅、旭駅、朝倉駅、伊野駅、須崎駅、窪川駅で整備済み ・高知駅に、個室型ワークブースを設置 電源、Wi-Fi、空調、LEDリングライト完備 ⑤バリアフリー化 ・利用者数3,000人/日以上以上の駅では、公共交通移動等円滑化基準に適合した設備を整備	全線区	自治体 J R 四国	◎	◎	→	→	→
◆車両環境整備	①特急車両の環境整備（2700系新型特急車両の導入） ・新型特急車両2700系を2020年度までに導入 ★車内案内表示器の多言語化（2000系全車両に導入）	全線区	J R 四国	○	◎			

【利用促進】

2022年度取組内容	対象線区	実施主体	2021 実施状況	2022 実施状況	2023	2024	2025
1. 観光振興への取組							
<p>◆観光列車等による観光振興</p>	<p>①「志国土佐 時代の夜明けのものがたり」の運行 ・地域の方と一体でのおもてなし 「須崎駅19 分劇場」の実施 4/16～ 地元高校生による車内ガイド 7/1～3 運行開始2周年記念イベント開催 7/22 ご乗車2万人達成イベント開催 2/4, 11, 18, 25 「こじゃんと夜明けのものがたり」ツアー催行 往路と復路で異なるおもてなしや車両の雰囲気体験</p>	土讃線	JR四国 自治体	◎	→	→	→
<p>②「予土線3兄弟」の運行 ・しまんトロッコの運行 4月～11月 車窓ガイドの実施（NPO四万十ART） 3/25 リニューアル後10周年を記念し、指定席利用のお客様に 缶バッジをプレゼント ・海洋堂ホビートレインの運行 5/23～ ウルトラトレイン号運転終了後、運行区間を予土線に限定 ・鉄道ホビートレインの運行</p>	予土線	JR四国 自治体	○	→	→	→	→
<p>③「サイクルトレイン」の運行 ・自転車の混乗試験の実施（予土線） 2022/3/19～ 対象列車を土日祝日全便に拡大</p>	全線区	JR四国 自治体	◎	→	→	→	→
<p>④臨時列車・企画列車の運行等 ・高知県予土線利用促進対策協議会による企画列車の運行 2021/7～2022/5 「海洋堂ウルトラマンフィギュア展」と連携した ラッピング列車「ウルトラトレイン号」運行 ・観光列車等の土佐くろしお鉄道への乗り入れ 4月～6月、10月～12月の金曜日に「志国土佐 時代の夜明けのものがたり」が土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線を特別運行</p>	全線区	JR四国 自治体 交通事業者	◎	→	→	→	→
<p>★「予土線Fun Fun祭り」の開催 ・窪川駅でオープニングセレモニーを実施 ・5/21, 22 「ウルトラトレイン号」のラストランに合わせ、ラッピング列車の展示や、保守車両体験等のイベントを開催</p>	予土線	JR四国 自治体	◎	◎	→	→	→

【利用促進】

2022年度取組内容		対象線区	実施主体	2021 実施状況	2022 実施状況	2023	2024	2025
◆イベント開催時の連携	①四国デスティネーションキャンペーンとの連携 ・四国アフターDC (4/1～6/30) ごめん・なはり線で「時代の夜明けのものがたり」とオープンデッキ付車両「しんたろう号」の2つの列車に乗車できる特別企画の旅行商品を販売	全線区	J R 四国 自治体	◎	○			
	②高知県観光キャンペーンとの連携 ・3/23 高知県の観光博覧会『牧野博士の新休日』に合わせて、『高知県・JR四国の観光振興に係る連携・協力に関する協定』の締結 協定期間：2023/4/1～2024/3/31	全線区	自治体 J R 四国	○	○	→	→	→
	③その他取組 ・令和4年度全国高等学校総合体育大会（四国インターハイ）との連携 ・特急「しおかぜ」「南風」運行開始50周年＆鉄道開業150周年記念イベント開催 ・「アンパンマンの日」お祝いイベントとして、高知駅にて記念撮影やメインオブジェのバースデータイムの体験 ・高知駅前「こうち旅広場」にて「四国に新幹線を」夏まつり開催 ・ご当地キャラまつり in 須崎に合わせ、最寄りの多ノ郷駅に特急列車を臨時停車	全線区	自治体 J R 四国	○	○	→	→	→
◆観光情報の発信	①観光案内や周辺マップの充実 ・高知県の観光案内や公共交通等を掲載した「ガイド高知」発行	全線区	自治体	⇒	→	→	→	→
	②HPやFacebookによる情報発信 ・SNS公式アカウントにより情報発信 高知駅、ワープ高知支店、志国土佐 時代の夜明けのものがたり	全線区	自治体 J R 四国	⇒	→	→	→	→

5 具体的取組【高知県内での取組】

【利用促進】

2022年度取組内容		対象線区	実施主体	2021 実施状況	2022 実施状況	2023	2024	2025
◆その他	①インバウンド向け企画商品の造成 ・ ALL SHIKOKU Rail Passの販売 ・ JR SHIKOKU Pass 3DAYSの販売	全線区	J R四国 交通事業者	○	→	→	→	→
	②自治体と連携した駅起点ツアー商品の造成 ・ 「四国家のお宝」シリーズの展開 ・ 「地域観光チャレンジ」企画商品の造成 四国の4国立大学の学生の考案	全線区	J R四国 自治体	○	→	→	→	→
	③地元高校生や住民の声による車内放送の実施 ・ 時代の夜明けのものがたり車内において、地元高校生がアナウンスを実施	土讃線	自治体 J R四国	⇒	○	→	→	→
	④海洋堂ホビー館との連携 ・ 海洋堂ホビートレイン「ウルトラトレイン号」導入 2021年7月～2022年5月「海洋堂ウルトラマンフィギュア展」と連携したラッピング列車「ウルトラトレイン号」運行 ・ 海洋堂ホビー館への特別展示「フィギュアの国のアリス」にちなみ、窪川駅と宇和島駅で協賛ポストカード配布	予土線	自治体 J R四国	◎	○	→	→	→
	⑤予土線利用促進（高知県予土線利用促進対策協議会） ・ 十川駅にこいのぼりを飾りつけ ・ 「予土線もうすぐ50周年！スタンプラリー」の実施 ・ 第9回予土線川柳コンテストの実施 ・ 予土線の利用促進を目的に、JR予土線絵画コンテストを実施 ・ 予土線3兄弟三重連「ウインタークルーズ号」を、宇和島～窪川駅間運転	予土線	自治体 J R四国	○	→	→	→	→
	★映画「竜とそばかすの姫」との連携 ・ 高知県を舞台としたアニメ映画「竜とそばかすの姫」公開に合わせて、映画に登場する伊野駅駅舎壁面や駅名標を特別ラッピングとさでん交通路面電車、黒岩観光や県交北部交通の路線バスのラッピング ★航空事業者との連携 ・ 2021/11/14 高知空港を発着し、瀬戸内、九州、奄美大島を巡る遊覧飛行ツアーを開催（JR四国ツアーで商品造成）	土讃線	自治体 J R四国 交通事業者	◎				
	—	J R四国 交通事業者	◎					

2. その他利用促進への取組

◆利用啓発イベントの開催等	①公共交通利用促進イベントの開催 ・ 公共交通利用促進キャンペーンの実施 11/3～1/29の日曜・祝日にICカード「ですか」で支払えば、一律10円、現金は100円で路面電車、路線バス、デマンド型タクシーが乗車可能 ・ 「鉄道の日」記念イベントの開催 各鉄道事業者の基地や車庫を見学する、「親子で行く 鉄道施設見学会」の開催	全線区	自治体 J R四国 交通事業者	◎	○	→	→	→
	②ノーマイカーデーの実施 ・ こうち520(ゴーニーマル)運動の推進(毎月5日と20日)	全線区	自治体 J R四国 交通事業者	○	→	→	→	→
	③企業や官公庁でのフレックスタイム等の導入	全線区	自治体	⇒	⇒	→	→	→

【利用促進】

2022年度取組内容		対象線区	実施主体	2021 実施状況	2022 実施状況	2023	2024	2025
◆補助制度の活用	①通学定期への運賃補助 ・遠距離通学学生への通学定期運賃補助 (高知市、大豊町、中土佐町、越知町、津野町、四万十町)	全線区	自治体	○	→	→	→	→
	②高齢者及び免許返納者への運賃補助 ・運転免許自主返納者への自治体による支援	全線区	自治体	○	→	→	→	→
	③団体利用への運賃補助 ・予土線を利用する5名以上の団体に対し運賃半額補助 (高知県予土線利用促進対策協議会)	予土線	自治体	○	→	→	→	→
	★高知県内の就職活動に伴う交通費補助 ・2021年5月～ 県外在住で高知県内で就職活動を行う学生等を対象に 交通費の一部を補助	全線区	自治体	◎	→	→	→	→
◆割引施策の導入	①昼間限定の割引回数券、高齢者への割引施策の導入	全線区	J R 四国	—	⇒	→	→	→
	★通学定期所持者向け特急利用通学割引 ・「定期券de特急『あしずり号』回数券」販売 2021/4/23～2022/3/31 土讃線大間～窪川駅間で発売	土讃線	J R 四国	◎				
◆公共交通の周知	①地域住民への周知 ・高知の公共交通応援キャンペーンの実施 厳しい状況にある公共交通を応援する写真やメッセージ、川柳を 募集、県内テレビ局で啓発CMを放映、新聞広告を掲載	全線区	自治体 J R 四国 交通事業者	◎	→	→	→	→
	②公共交通を利用していない方へのPR強化 ・公共交通利用促進イベントの関連事業として、高知市在住の方を 対象に高知県内で使用できるICカード「ですか」を2万枚無料配布	全線区	自治体 J R 四国 交通事業者	○	→	→	→	→
	③出張時における公共交通の利用促進	全線区	自治体 J R 四国 交通事業者	⇒	⇒	→	→	→
	④企画きっぷのPR強化 ・実施に向けた検討	全線区	J R 四国 自治体 交通事業者	⇒	⇒	→	→	→
◆美化活動	①駅構内・駅周辺の美化活動 ・地元高校生によるトイレ清掃(後免駅) ・入明駅建立の「志の龍馬像」清掃	全線区	自治体 J R 四国	⇒	○	→	→	→
	②その他活動 ・自転車盗難被害防止の呼びかけ(高知駅) ・季節に合わせた飾りつけ (五月人形、こいのぼり、七夕飾り、クリスマスツリー、門松)	全線区	自治体 J R 四国	○	→	→	→	→

【その他】

2022年度取組内容		対象線区	実施主体	2021 実施状況	2022 実施状況	2023	2024	2025
◆中長期的な公共交通ネットワークのあり方の検討	①各交通モードの特性や地域の特性・実情を踏まえた適切な公共交通ネットワークのあり方に関する検討 ・高知県鉄道ネットワークあり方懇談会	全線区	自治体 J R 四国 交通事業者	○	○	→	→	→
	②四国の新幹線の早期実現に向けた機運醸成・要望活動 ・四国新幹線整備促進期成会による要望活動等 ・四国知事会議を開催し、提言をとりまとめ 新幹線応援キャラクターの着ぐるみ制作等 ・高知県知事による要望活動	-	自治体	○	○	→	→	→
◆自治体による計画の策定及び推進	①地域公共交通計画等の策定及び推進 ・計画の推進 (南国市、高知市、須崎市、いの町、佐川町、四万十町、嶺北地域、中土佐町、)	全線区	自治体 J R 四国 交通事業者	○	→	→	→	→
	②立地適正化計画等の策定及び推進 ・計画の推進(高知市、南国市、須崎市、四万十市、いの町)	全線区	自治体 J R 四国 交通事業者	○	→	→	→	→
	★その他会議の開催 ・高知市中心市街地活性化協議会 ・いの町都市再生協議会 ・南国市都市再生協議会 ・四国南東部広域観光連携協議会	土讃線	自治体		○	→	→	→
◆調査等の実施	①地域公共交通に関するアンケート・利用実態調査の実施 ・各実証実験時等にアンケートの実施	全線区	自治体	○	→	→	→	→
	②より正確な利用実態把握方法の導入 ・実施に向けた検討	全線区	J R 四国	⇒	⇒	→	→	→
◆安全性向上への協力	①異常時訓練への参加協力 ・合同訓練の実施 11/4 安和から土佐久礼駅間で「地震・津波避難誘導訓練」を実施 12/7 高知運転所布師田車両基地で、総合事故対策訓練を実施	全線区	J R 四国	○	→	→	→	→
	②安全PR活動への参加協力 ・全国交通安全運動における踏切安全通行PR活動への協力 9/21 須崎駅構内(須崎市下分老人会交通安全指導員と合同) 11/1 高知駅コンコースでチラシの配布と、啓発ビデオの放映 ・交通安全ひろばへの参加 9/23 交通安全ひろばが3年ぶりに開催され、JR四国ブースでプラレールを展示	全線区	J R 四国	○	→	→	→	→
	★感謝状の贈呈 4/20 踏切で立ち往生するシニアカーを発見し、踏切支障報知装置を扱った小学生に感謝状 ★災害発生時における相互協力に関する協定の締結 2021/5/28 土木学会四国支部とJR四国における災害発生時における相互協力に関する協定の締結	全線区	J R 四国	○	→	→	→	→

【その他】

2022年度取組内容		対象線区	実施主体	2021 実施状況	2022 実施状況	2023	2024	2025
◆新型コロナウイルスへの対応	①感染防止対策や「新しい生活様式」への対応 ・走行車両の窓開けや車両空調装置による換気の実施 ・列車混雑状況のHP等による情報提供 ・定期消毒や抗ウイルスシート貼付、アクリル板の設置 ・時差出勤やマスク着用等の呼びかけやポスター掲示	全線区	J R 四国	○	→	→		
	②「新しい生活様式」に向けた利用回復、促進への支援 ・「高知観光リカバリーキャンペーン」の実施 高知県内宿泊を伴う旅行のうち交通費用に対して助成金を交付 ・「高知観光トク割キャンペーン」の実施 県内宿泊費用、旅行商品への助成	全線区	自治体	◎	→	→		
	★無料抗原検査会場の設置 ・高知駅南口前に新型コロナウイルスの無料抗原検査会場を設置 8/1～9/30, 12/24～1/12	全線区	自治体 J R 四国		○			